

武蔵野美術大学

Musashino Art University

2027年度 学生募集要項

大学院修士課程選抜

A日程： 8月出願 9月試験 4月入学

B日程： 11月出願 1月試験 4月入学

入学試験に関する問い合わせ

武蔵野美術大学入学センター

187-8505 東京都小平市小川町1-736 1号館3階

電話 042-342-6995 メール nyushi@musabi.ac.jp

受付時間 9:00～16:30(日曜・祝日を除く)

試験日当日を含め受験生へのお知らせは大学webサイトに掲載します

<https://www.musabi.ac.jp/>

*試験予定は今後の情勢次第で変更になる可能性もあります。

*本要項の内容に変更があった場合は、別途本学Webサイトにてお知らせします。

目次

- P01 アドミッションポリシー
生成AIに関する取扱い
- P02 2027年度入学試験の変更点
募集人員
授業料後払い制度
併願
過去の入試データ
- P03 出願資格
- P04 出願書類
- P06 事前面談
- P07 教員一覧
- P08 大学院[修士課程]選抜の流れ
- P10 出願にあたっての注意
選考方法
二段階選考について
受験時の配慮
- P11 試験日程および提出物(A日程)
- P14 試験日程および提出物(B日程)
- P20 作品提出
- P22 入学試験場
受験上の注意
不正行為
- P23 入学手続
補欠について
在留資格「留学」の取得について
- P24 学費等
- P25 各コースの教育
- P26 本学へのアクセス

アドミッションポリシー

造形研究科

武蔵野美術大学は幅広い教養を備え人格的にも優れた美術家やデザイナーなど、造形芸術の専門家を養成してきました。本学では次のような学生を求めています。

1. 幅広い造形力や教養、独自性を基に、自らの専門性を着実に、かつ大胆に深化、開拓しようとする人
2. 造形芸術の研究・表現者として、文化創造の発展に寄与し、国際社会で活躍しようとする人

造形構想研究科

総合的な造形教育によって得られる創造的思考力と現代社会に対する広範な知識を基盤として、現代文明のグローバルかつ加速度的な変化の中で、美術・デザイン領域を超えて、広く社会問題の解決や新たな人類価値の創出を行いうる柔軟な発想や構想力を有し、かつそれを高度に実践できる実行力、推進力、牽引力を備えた人材を養成します。造形構想研究科では次のいずれかの学力と意欲を持った学生を求めています。

1. サービスデザインやデザインビジネス分野において、リーダーシップを発揮して新たな社会的価値や事業構想を具現化するための基礎的な能力・経験を持つ人
2. 映像・写真分野を中心に、新たなメディア表現と社会装置化を探究するための基礎的な能力・経験を持つ人

生成AIに関する取扱い

武蔵野美術大学ではクリエイティブの可能性を探るうえで、学生が生成AIを活用することに一定の意義を見だしています。ただし、それはみなさんが「学びとは何か」を自ら考えるための一つの手段として生成AIを用いることを推奨するものであり、ものづくりや思考をAIに代行させることを認めるものではありません。また、生成AIの利用には、個人情報の漏えいや著作権侵害のリスクが伴います。さらに、AIが出力する内容には誤った情報や偏った表現が含まれることもあります。そのため、常に内容を確認し、自分の判断で活用する姿勢が大切です。こうした点をふまえ、入学者選抜では生成系AIツールにより生成された作品、文章等をそのまま複製・転載・貼付したものは受験生本人の成果物とはみなしません(生成AIが作成した文章や回答の語尾や言い回しの一部を変えたり、構成の順序を入れ替える程度の改変も「そのままの利用」に含まれます)。自らの責任において十分に考え、制作したものを提出してください。

2027年度入学試験の変更点

- ・空間演出デザインコースの提出作品の規程を以下のとおり変更します。
900mm×1200mm×1800mm以内のスペースに展示できること。

募集人員

大学院[修士課程]選抜における募集人員は次のとおりです。(A・B日程合計)

専攻	コース	A日程	B日程	募集人員
美術専攻	日本画コース	—	○	50名
	油絵コース	—	○	
	グラフィックアーツコース	—	○	
	彫刻コース	—	○	
	美学美術史コース	○	○	
	芸術文化学コース	—	○	
デザイン専攻	視覚伝達デザインコース	○	○	45名
	工芸工業デザインコース	—	○	
	空間演出デザインコース	—	○	
	建築コース	○	—	
	基礎デザイン学コース	—	○	
	デザイン情報学コース	○	—	
造形構想専攻	クリエイティブリーダーシップコース	○	○	35名
	映像・写真コース	○	○※	

※映像・写真コースのB日程は、武蔵野美術大学を卒業(または2027年3月卒業見込)の者または武蔵野美術大学学部研究生(映像・写真研究領域)に在籍中の者のみ出願できます。

授業料後払い制度

修士課程進学者で、一定の申請資格を満たした方が制度の利用を申請し認められた場合、修士課程修了後の所得に応じて、在学中の授業料を後払いする仕組み(授業料後払い制度)が国により創設されました。

利用を希望する方は、webサイト[https://www.musabi.ac.jp/student_life/tuition/scholarship/deferred_payment/]にて内容を確認の上申請してください。

※「授業料後払い制度」を利用する場合、日本学生支援機構第一種奨学金を利用することはできません。

※本制度は給付型の奨学金ではなく修了後に返還の必要がある制度です。理解した上で利用するかどうかを検討するようにしてください。

○提出書類

授業料後払い制度希望申請書

○申請期限

A日程:2026年8月27日(木) B日程:2026年12月1日(火)

大学院の出願期間をご確認の上、出願締切日までに、「授業料後払い制度希望申請書」を出願書類に同封して提出ください。

併願

1つの日程で複数のコースを併願することはできません。

A日程とB日程は、同一または別のコースに出願することが可能です。

大学院修士課程選抜と学部研究生選抜は、同一のコース・研究領域のみ併願できます。

大学院修士課程選抜と学部研究生選抜の併願者は、一度の作品提出、面接試験で、大学院修士課程選抜と学部研究生選抜の選考を兼ねます。選考を2回行うことはありません。

過去の入試データ

過去の入学試験問題は、大学webサイトで一部公開しています。

<https://www.musabi.ac.jp/admission/other/past-exam/>

過去の入学試験結果は、大学webサイトで公開しています。

<https://www.musabi.ac.jp/admission/other/data/>

出願資格

以下(1)～(8)の出願資格のいずれかに該当する者または2027年3月31日までに該当する見込で、かつ2027年4月1日までに22歳に達する者が出願できます。

- (1) 日本の大学を卒業した者。
 - (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者。
 - ① 短期大学、高等専門学校卒業者を対象とする学位授与者
 - ② 機構認定の教育施設(各省庁大学校)の課程修了者を対象とする学位授与者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了し、学士の学位に相当する学位を取得した者。
 - (4) 外国の学校が行う通信教育を日本国内で受講することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了し、学士の学位に相当する学位を取得した者。
 - (5) 日本国内において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度により認められた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
 - (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること等の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
 - (7) 文部科学大臣の指定した者。
 - (8) 本大学院において、個別の受験資格審査※により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者※。
- ※出願資格(8)による志願者は、受験資格の事前審査が必要です。本学webサイト(<https://www.musabi.ac.jp/admission/other/exceptional/>)の「個別入学資格審査」を参照の上、A日程志願者は2026年6月26日(金)まで、B日程志願者は2026年10月10日(土)までに審査を申し込んでください。

◆外国籍(日本の永住資格保持者を除く)の志願者

(1)～(8)のいずれかの出願資格に該当していることに加えて以下の対象期間の試験において、AまたはBにあてはまる者。

	A				B		
		日本留学試験(EJU)の「日本語(読解・聴解・聴読解)」で200点以上を得意している			日本語能力試験(JLPT)でN2以上に合格している		
対象期間	A日程	2024年11月、2025年6月、2025年11月、2026年6月			2011年7月～2026年7月実施分		
	B日程	2025年6月、2025年11月、2026年6月					
確認方法	科目 Subject	日 本 語 Japanese as a Foreign Language				レ ベ ル Level	
		聴解・聴読解 Listening and Listening・Reading	読解 Reading	合計 Total	記述 Writing	結 果 Result	合格 Passed
		得 点 Score				認定番号 Certification No.	
		得点範囲 Score Range	0～200	0～200	0～400		
		平均点 Average		「合計」得点が 200点以上の者			
						N1またはN2に合格している者	

(注1)武蔵野美術大学に学部生、大学院生、研究生として現在在籍している方、武蔵野美術大学の卒業生、日本国内の4年制大学卒業(見込み)者については日本語能力レベルは出願資格としません。

(注2)油絵コース、グラフィックアートコース、彫刻コース、芸術文化学コース、視覚伝達デザインコース、空間演出デザインコース、建築コース、基礎デザイン学コース、デザイン情報学コース、映像・写真コースの志願者は、日本留学試験(EJU)の「日本語(読解・聴解・聴読解)」で280点以上を得意しているか、日本語能力試験(JLPT)でN1レベルに合格していることが望ましいです。

(注3)美学美術史コースの志願者は、日本留学試験(EJU)の「日本語(読解・聴解・聴読解)」で280点以上を得意しているか、日本語能力試験(JLPT)でN1レベルに合格していることが望ましいです。ただし、日本語の基準を満たしていない者で、自分の専門分野について指導希望教員と十分な意思疎通が図れる者は、事前に指導希望教員との面談を経た上で、個別に受験資格の審査を行います。希望者は「大学院面談希望(日本語基準を満たしていない者)」とタイトルをつけ、下記の連絡先まで申し込んでください。

美学美術史コース	bisiken@musabi.ac.jp
----------	----------------------

(注4)日本画コース、工芸工業デザインコースは、日本語の基準を満たしていない者で、英語等の言語で十分な意思の疎通が図れる者については、事前に指導希望教員との面談を経た上で、個別に受験資格の審査を行います。希望者は「大学院面談希望(日本語基準を満たしていない者)」とタイトルをつけ、下記の連絡先まで申し込んでください。その他のコースは、日本語の基準を満たしていない者の受験はできません。

日本画コース	nihonga@musabi.ac.jp
工芸工業デザインコース	koude@musabi.ac.jp

※出願期間までに十分な時間的余裕を持って申し込んでください。

(注5)EJUとJLPTの受験申込後に国・地域・会場で中止となり、受験できなかった場合は、受験票の画像を添えてnyushi@musabi.ac.jpへ連絡してください。

◆クリエイティブリーダーシップコース(社会人方式)の志願者

(1)～(8)のいずれかの出願資格を満たしたのち、2027年4月1日現在で2年以上の職務経験(アルバイト等を除く)を有する者が対象となります。企業等に所属していない場合は実績(週40時間で2年間相当であることを)審査します。要件に満たない場合は(一般方式)での受験となります。

◆映像・写真コース[B日程]の志願者

映像・写真コース[B日程]は武蔵野美術大学を卒業(または2027年3月卒業見込)の者または、武蔵野美術大学学部研究生(映像・写真研究領域)に在籍中の者のみ出願できます。

出願資格について不明な点がある場合は、出願期間開始の30日前までにお問い合わせください。

出願資格を有していることが確認できない場合は、出願を受け付けないことがあります。

出願書類

* 原本と記載されているものは、必ず原本(The original/ 原件)を提出してください。コピー(COPY/ 复印件)での出願はできません。

①志願確認書(全員)

web出願システムで出願登録が完了すると、出力できます。

* 出願登録完了後に入力内容に間違いが見つかった場合は、赤いペンで修正し、修正箇所が目立つようにしてください。

②学部(Undergraduate)の卒業(見込)証明書(全員)

* 出願資格(3)に該当する方(外国の大学を卒業の方)は学士の学位取得(見込)証明書をあわせて提出してください(取得した学士/Bachelorについて②の卒業証明書に記載がある場合は不要です)。

* 必ず学部(大学)のものを提出してください(大学院や日本語学校の卒業証明書は無効です)。

* 卒業証書(Diploma/ 毕业证书)ではなく卒業証明書(Certificate of Graduation/ 毕业证明书)を提出してください。

* 出身校の事情により、卒業証明書(Certificate of Graduation/ 毕业证明书)の発行ができない場合は、卒業証書(Diploma/ 毕业证书)を出願期間開始前までに入学センター(1号館3階)に持参し、確認を受けてください。

* 日本国内の大学等を卒業(見込)の場合には3か月以内発行の証明書を提出してください。日本国外の大学等を卒業(見込)の場合、証明書の発行日はいつでも構いません。

* 出願資格(2)に該当する方は、「学位記の写し」を提出してください。

* 出願資格(6)に該当する方は、高度専門士取得証明書または修士証明書を提出してください。

* 中国本土の教育機関を卒業された方は、卒業(見込)証明書、学位取得証明書に代えて以下の認証書でも構いません。

○CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する英文の「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」(卒業見込者は英文の「Online Verification Report of Student Record」)

○CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する英文の「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」

詳細は、CSSD(CHESICC)のwebサイト(<https://www.chsi.com.cn/en/>)を確認してください。

発行に時間がかかる場合もあるので、十分な時間的余裕を持って申請してください。

③学部(Undergraduate)の成績証明書(全員)

* 必ず学部(大学)のものを提出してください(大学院や日本語学校の成績証明書は無効です)。

* 日本国内の大学等を卒業(見込)の場合には3か月以内発行の証明書を提出してください。日本国外の大学等を卒業(見込)の場合、証明書の発行日はいつでも構いません。

* 出願資格(2)に該当する方は、基礎資格となる機関の「成績証明書」を提出してください。

* 中国本土の教育機関を卒業された方はCHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する「成績証明書」でも構いません。

原本が日本語または英語の場合	原本が日本語または英語以外の言語の場合	
原本を提出	・大使館などの公的機関または日本語学校(現在日本国内の日本語学校に在籍中の場合のみ可能)で証明を行う場合	・中華人民共和国公証役場で証明を行う場合
	原本と大使館などの公的機関または日本語学校で証明した日本語または英語訳の原本の両方を提出	公証役場が作成した「公证书」原本を提出
原本	原本 原本	原本

④提出作品自己作成証明書(全員(クリエイティブリーダーシップコース出願者は不要))

* 巻末の様式に、提出する作品が本人が作成したものであることを誓約し、指導教員からその証明を取得してください(家族、親族、友人による証明は不可)。

* 現在日本国内の日本語学校等に在籍中の場合は、日本語学校等の教員による証明も可能です。

⑤クリエイティブリーダーシップコース職務経歴書(クリエイティブリーダーシップコース(社会人方式)出願者のみ)

* 巻末の様式を利用してください。

* 経歴欄が足りない場合は、複数ページになっても構いません。ただし末尾の本人誓約欄はすべてのページに署名・捺印してください。

→次ページにつづく

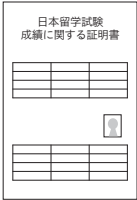
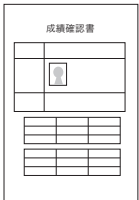
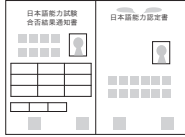
⑥在留資格を証明する書類(外国籍の方(日本の永住資格保持者含む)のみ)

*以下のうちどちらか1枚を提出してください。

日本に在留している場合	日本に在留していない場合
・在留カードの両面のコピー *裏面に記載がなくても、必ず両面のコピーを取ってください *更新予定の場合は、コピーの余白にそのことを記載してください(例:00年00月更新予定) *A4サイズ用紙にコピーしてください	・パスポートの身分事項(氏名、顔写真、生年月日、国籍、パスポートの有効期限等)が記載されているページのコピー *A4サイズ用紙にコピーしてください

⑦日本語能力レベルを証明する書類(外国籍の方(永住資格を持つ方)、本学在学学生、卒業生、日本国内の4年制大学卒業(見込)者を除くのみ)

- *日本留学試験(EJU)と日本語能力試験(JLPT)のどちらかを選び、以下(1)～(6)のうち、いずれか1枚を提出してください。
- * (3)成績確認書は、EJU オンラインの「成績確認専用ページ」から印刷の上、提出してください。
- * A日程志願者のうち、2026年7月に日本語能力試験(JLPT)を受験し、出願期間内に合格を証明する書類が未着の場合は、合格したことがわかるweb画面のスクリーンショットを出願書類に同封して提出してください。後日、証明書が届きましたら追加で提出してください。

日本留学試験(EJU)で出願する場合			日本語能力試験(JLPT)で出願する場合		
A日程:以下4回を対象とします 2024年11月、2025年6月、2025年11月、2026年6月 B日程:以下3回を対象とします 2025年6月、2025年11月、2026年6月			A日程・B日程共通 以下の期間に実施された試験を対象とします 2011年7月～2026年7月実施分		
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
					
COPY	COPY	EJUオンラインから印刷	COPY	COPY	COPY

⑧「授業料後払い制度」希望申請書(授業料後払い制度申請希望者のみ)

- *webサイト[https://www.musabi.ac.jp/student_life/tuition/scholarship/deferred_payment/]にて制度内容、対象者等を確認の上申請してください。

⑨新旧氏名がわかる英語または日本語で記載された公的書類(出願時の氏名と証明書等の氏名が異なる者のみ)

- *結婚や改名により、出願時の氏名と、証明書記載の氏名が異なる場合は、同一人物であることを証明する公的書類を提出してください。

*出願書類は、卒業証書(Diploma/毕业证书)原本を除き、すべて返却不可能です。

☐ 事 前 面 談

必須【芸術文化学コース】

芸術文化学コースでは**出願期間開始前までに**大学院での指導を希望する教員との事前面談(対面／オンライン)を必ず行ってください。

面談を希望する教員あてに直接メールで連絡して、日程を調整してください。各教員のメールアドレスは下記の芸術文化学科webサイトに掲載しています。

出願開始以降は面談を行えません。注意してください。

●芸術文化学科webサイト <http://acds.musabi.ac.jp/>

必須【建築コース】

建築コースでは**出願期間開始前までに**希望指導教員との事前面談を必ず行ってください(時間に余裕をもって面談申込を行ってください)。

面談に先立ち、面談を希望する教員あてに直接メールで連絡してください。面談可能な日時について教員よりご連絡します。各教員のメールアドレスは下記建築学科webサイトに掲載しています。

また、既に開催された進学相談会等で行った相談が事前面談となるか否かが不明な場合も、メールにて教員に確認してください。

●建築学科webサイト <http://www.arc.musabi.ac.jp/studio.html>

必須【デザイン情報学コース】

デザイン情報学コースでは**出願期間開始前までに**希望指導教員との事前面談を必ず行ってください。

事前面談は、希望指導教員と連絡を取り、原則対面で行います。

事前面談の申込は、下記のWEBフォームのリンク先にて受け付けます。

<https://forms.gle/f9RSexKrD7YVD5z29>

フォームの入力締切:**2026年8月13日(木)23:59**

※申込の状況により、予告なく変更することがあります。



推奨【美学美術史コース】

美学美術史コースでは**出願期間開始前までに**美学美術史研究室の専任教員との事前面談(対面／オンライン)を行うことを推奨しています。研究テーマの概要を書き添えて、出願開始の1か月前までに、美学美術史研究室にメールで申し込んでください。対応可能な面談日・時間の候補をお知らせします。出願開始以降は面談を行えませんので、注意してください。

●申込期限:**出願期間開始の1か月前まで**

●美学美術史研究室メールアドレス:bisiken@musabi.ac.jp

メールの件名を「大学院選抜事前面談申込」とした上で、「氏名、住所、電話番号、出身学校もしくは在籍学校名、研究テーマの概要」を必ず記載してください。

推奨【工芸工業デザインコース】

工芸工業デザインコースでは**出願期間開始前までに**希望指導教員との事前面談(対面／オンライン)を行うことを推奨しています。面談に先立ち、以下の期限までに工芸工業デザイン学科研究室にメールで申し込んでください。後日、対応可能な面談日・時間の候補をお知らせします。

出願期間開始以降は面談を行えませんので注意してください。

●申込期限:**2026年11月9日(月)18:00**

●工芸工業デザイン学科研究室メールアドレス:koude@musabi.ac.jp

タイトルを「大学院選抜事前面談申込」とした上で、氏名、住所、電話番号、出身学校もしくは在籍学校名、希望する指導教員名を必ず記載してください。

【その他のコース】

上記以外のコースでは、事前面談は必須・推奨ではありません。

大学院修士課程選抜受験について問い合わせ事項がある場合は、出願期間開始前までに各研究室webサイトより、直接研究室にご連絡ください。出願開始以降の事前相談・事前面談の申し込みは受け付けません。

(教員個人のアドレスは公開していません)

専攻	コース	研究室webサイト
美術専攻	日本画コース	https://nihonga.musabi.ac.jp/
	油絵コース	http://aburae.musabi.ac.jp/
	グラフィックアーツコース	https://ga.musabi.ac.jp/
	彫刻コース	https://chokoku.musabi.ac.jp/
デザイン専攻	視覚伝達デザインコース	https://vcd.musabi.ac.jp/web/
	空間演出デザインコース	https://kuude.musabi.ac.jp/
	基礎デザイン学コース	https://www.kisode.com/
造形構想専攻	クリエイティブリーダーシップコース	https://ci.musabi.ac.jp/
	映像・写真コース	http://eizou.musabi.ac.jp/

【注意事項】

*オープンキャンパス等で行った面談は事前面談にあたりません。必ず「大学院選抜事前面談」を別途申し込んでください。

*出願開始以降に実施される授業公開への申込みはできません。

☐ 教 員 一 覧

最新の情報や詳細は、専任教員プロフィール集 (<http://profile.musabi.ac.jp/>) をご覧ください。

専攻	コース	教員名	専攻	コース	教員名	専攻	コース	教員名	専攻	コース	教員名
美術	日本画	岩田壮平	美術	美学 美術史	村上博哉	デザイン	空間演出 デザイン	五十嵐久枝	デザイン	デザイン 情報学	井上尚司
		尾長良範			江村知子			池田ともゆき			大石啓明
	油絵	諏訪敦			奥健夫			太田雅公			佐藤淳一
		今井俊介			北澤洋子			鈴木康広			新保韻香
		小尾修			木田拓也			津村耕佑			高山稜
		樺山祐和			沢山遼			寺田尚樹			荒川歩
		小林耕平			前田恭二			持田正憲		造形構想	石川卓磨
		小林孝亘		視覚伝達 デザイン	白井敬尚		建築	菊地宏			岩寄博論
	グラフィック アーツ	関根直子			石塚英樹			國廣純子			長谷川敦士
		袴田京太郎			岩淵真理			小西泰孝			丸山幸伸
		町田久美			大田暁雄			長谷川浩己		映像・ 写真	クリストフ・シャルル
		丸山直文			北崎允子		基礎 デザイン学	布施茂			小口詩子
		水上泰財			後藤映則			原研哉			篠原規行
		吉川民仁		デザイン	ソノユミン			清水恒平			菅沼比呂志
	彫刻	遠藤竜太			寺山祐策			田中良治			平岡政展
		いとう瞳			中野豪雄			板東孝明			三浦均
		高浜利也			古堅真彦			菱川勢一			
		元田久治			山中一宏			三澤遥			
	芸術 文化学	富井大裕			伊藤真一			室賀清徳			
		大野綾子		工芸工業 デザイン	大村俊二						
		三沢厚彦			熊野亘						
		保井智貴			小林正樹						
		米徳信一			鈴木洋						
		是枝開			高橋理子						
		佐々木一晋			田中桂太						
		杉浦幸子			西川聡						
		春原史寛			吉山豪						

※2026年7月現在。2027年度において変更が発生する可能性があります。

▽大学院〔修士課程〕選抜の流れ

A日程	B日程
出願期間 まで	出願期間 まで

事前面談

芸術文化学コース、建築コース、デザイン情報学コースのみ必須。P06参照

出願(①～⑤)

① web出願のガイダンスページへアクセス
<https://www.guide.52school.com/guidance/net-musabi/>

出願手続きの流れなどをよく読んで出願方法を確認してください。



② ガイダンスページからマイページへアクセス

受験者情報・顔写真を登録してください。

※マイページは1人一つのみ作成してください。作成後に別のメールアドレスで新たにマイページを作成することはしないでください。



③ 入試種別の選択・出願情報の入力

〔出願初日は9:00～、出願最終日は15:00まで〕

web出願登録では受験者情報、出願情報の他、以下の情報も必要となります。あらかじめ準備してください。

- 卒業制作・論文のテーマおよび概要(400文字以内)

- 入学後の学修・研究計画(800文字以内)

*芸術文化学コース、工芸工業デザインコースの志願者は別紙にて提出してください。

(試験日程および提出物のページを参照)

*クリエイティブリーダーシップコースの志願者は情報入力のほかに、面接当日に別紙の提出が必要です。

(試験日程および提出物のページを参照)

- 大学院修了後の計画（400文字以内）

- 希望指導教員、希望専攻分野

*芸術文化学コース、空間演出デザインコース、建築コース、デザイン情報学コース、クリエイティブリーダーシップコース、映像・写真コースのみ



※出願最終日の15:00までに、web出願登録が完了していることが必要です。15:00時点で登録途中である場合は出願とは認められませんのでご注意ください。また、PC、ネットワーク環境の不調により期限内に登録完了できなかった場合も救済措置は行いませんので、時間に余裕を持って操作を行うようにしてください。

④ 検定料の支払い

登録完了画面から支払い専用サイトへ移動し、下記より支払い方法を選択してください。

支 払 い 可 能 な 取 扱 い 機 関

クレジットカード

- ☐ VISA
☐ MasterCard
☐ JCB
☐ AMERICAN EXPRESS
☐ Diners Club

クレジットカードでの支払いは
カード情報の入力完了と同時に
決済となります。

コンビニエンスストア

- ☐ デイリーヤマザキ
- ☐ ヤマザキデイリーストア
- ☐ ローソン/ミニストップ
- ☐ ファミリーマート
- ☐ セイコーマート

「お支払情報取得」ボタンをクリックすると、支払い時に必要となる番号が表示されます。支払い機関によって手順が異なるため、ご確認の上、検定料をお支払いください。

ATM(Pay-easy利用可能なATM)

- ☐ ゆうちょ銀行
- ☐ 三菱UFJ銀行
- ☐ 三井住友銀行
- ☐ みずほ銀行
- ☐ りそな銀行など

ネットバンキング

主要メガバンクをはじめ、
全国 1,000 行以上対応。ご
利用には、ネットバンキン
グの利用契約が必要です。



*コンビニ、クレジット
カードなど検定料
の支払いは支払い方
法ページを参照して
ください。

各日程 **35,000円**

*web出願システムより出願期間内にお支払ください。

*検定料の他に、サービス利用料990円が別途必要です。登録時にご確認ください。

*両日程併願、研究生選抜との併願による割引はありません。

(**出願最終日は18:00まで** にお支払いください。)

※まだ出願は完了していません。次のページへ進んでください。



個人情報の保護について

出願にあたってお知らせいただいた住所、氏名、その他の個人情報は、学校法人武蔵野美術大学個人情報保護基本方針に則り、入学試験業務、および個人を特定しない形での各種統計資料作成に利用します。これらについては個人情報保護法規定に則して契約を締結した委託業者において行います。出願された方の個人情報は本学が明示する用途に限り使用し、委託業者がその委託業務を超えて他の目的に使用することはありません。

㊦ 出願にあたっての注意

- 出願書類に不備があった場合、出願が無効となることがあります。
- 検定料支払い後の志望専攻・コース変更は認めません。
- 一旦受理した出願書類および検定料は、本人の責任によらない場合も含め事由のいかんを問わず返還しません。
- 出願書類に虚偽の記載があった場合、合格を取り消すことがあります。
- 出願書類の到着や不備の有無の確認等、個別の問い合わせには対応できません。

㊦ 選考方法

全コースにおいて、提出物、面接、小論文、外国語、専門試験等を総合して選考します。

㊦ 二段階選考について

造形研究科美術専攻油絵コース、デザイン専攻視覚伝達デザインコース、造形構想研究科造形構想専攻映像・写真コース(A日程のみ)では二段階選考を実施します。

出願時に提出されたポートフォリオ、作品、研究計画書等に基づき第1次選考を行います。第2次選考(作品審査、面接、小論文等)を受験できるのは第1次選考合格者のみです。

第1次選考の結果は以下の日時に本学webサイトに掲示します。

油絵コース(B日程):2026年12月25日(金)11:00

視覚伝達デザインコース(A日程):2026年9月15日(火)11:00

視覚伝達デザインコース(B日程):2026年12月25日(金)11:00

映像・写真コース(A日程):2026年9月15日(火)11:00

第2次選考の詳細については結果発表とは別に選考前日までにお知らせします。

㊦ 受験時の配慮

身体上の理由により、受験の際に配慮を希望する場合は、本学webサイト「入学試験受験上の配慮をご希望の方へ」[https://www.musabi.ac.jp/admission/other/exam_support/]の内容をご確認の上、以下の期日までに申請(相談)に必要な書類を入学センター(e-mail:nyushi@musabi.ac.jp)までお送りください。また、出願後に不慮の事故等(交通事故、負傷、発病等)により配慮が必要となった場合は、速やかに入学センターにご連絡ください。

A日程:2026年 7月24日(金)16:30必着

B日程:2026年10月30日(金)16:30必着

*入学試験に合格し、入学する場合は改めて「支援要望書」を提出いただき、新入生・所属研究室・保健室等との面談により支援内容を決定します。要望内容によっては、入学試験時には対応可能であっても入学後の継続的な対応ができかねる場合がありますことを、あらかじめご承知おきください。

㊦ 試験日程および提出物（A日程）

専攻	コース	日程	試験・提出物
美術専攻	美学美術史コース	出願時 8月21日(金)～ 8月27日(木)	郵送提出 ○「卒業論文または卒業制作」(面接終了後に返却) ・卒業制作にはその創作的意図について2,000字程度の解説を添えること。 ・大学卒業見込者、および、出身・在籍大学において卒業論文・卒業制作が必修でない者については、卒業論文等に代えて、研究計画書4,000字程度を提出してもよい。その場合、今までの研究・制作の状況と、大学院進学後の研究計画を具体的かつ明瞭に記述すること。 ・大学卒業後2年を超える場合は、最近の研究論文またはファイルも提出すること。
		9月27日(日)	試験 ○「小論文」10:00～12:00 携行用具:鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具 ○「外国語(英語)」12:30～13:30 携行用具:鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具、英和辞書(電子辞書は不可)また外国人留学生は母国語と英語・日本語に関する辞書を携行してもよい。 ○「専門基礎(筆記試験)」14:30～15:30 携行用具:鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具 ・ペン、下敷きの使用は認めない。 面接 16:30～

※提出作品自己作成証明書に記載されていない作品や、発表用のPC、タブレット等を面接時に持ち込むことはできません。

☐ 試験日程および提出物（A日程）

専攻	コース	日程	試験・提出物
デザイン専攻	視覚伝達デザインコース	出願時 8月21日(金)～ 8月27日(木)	郵送提出 ○「ポートフォリオ1点」 ・A3サイズのポートフォリオ1冊のみ(50ページ以内)。 ・作品の実物の挿入は認めない。 ・補助資料として、5分以内の動画(500MB以内、mp4形式)の提出を認める。USBフラッシュメモリで提出のこと。 ・上記以外の提出物は認めない。 ○「論文とその要旨」(希望者のみ) ・学位授与論文または発表済み論文。 ・論文に加え、400字詰め原稿用紙3枚以上に要旨をまとめたものをあわせて提出すること。 ※「ポートフォリオ」、「論文とその要旨(希望者のみ)」に基づき第1次選考を実施する。第1次選考の結果は9月15日(火)11:00に本学webサイトに掲示する。
		9月26日(土)	試験 ○「小論文」10:00～12:00 携行用具:鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具 ・ペン、下敷きの使用は認めない。
		9月27日(日)	面接 集合時間は試験前日までに大学webサイト上に掲載
	建築コース ※事前面談必須 P06参照	9月27日(日)	持参提出 ※下記①②をすべて提出すること。 8:30～9:15に受験生本人が持参。 ①「近作1点」(面接終了後に返却) ・プレゼンテーションで使用するデジタルメディアを提出すること。模型・パネルなどの提出は不可。データ形式はjpg、pdf、ppt、動画はmovとし、USB接続が可能なストレージに収録して提出すること(USB専用作品用氏名ラベルは使用しないでください)。 ②「ポートフォリオ(近作3点以上をファイル形式でまとめたもの)または論文」 試験 ○「即日設計」9:30～12:30※ 携行用具:製図用具一式(T定規必須、製図板不要、平行定規は使用不可)。 ・バッテリー駆動、電力を使用する用具の使用は不可。 ○「小論文」10:00～12:00※ 携行用具:鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具 ・ペン、下敷きの使用は認めない。 ※建築コースの試験について 希望指導教員が布施・菊地の場合は「即日設計」を受験すること。 小西・長谷川・持田・國廣の場合は「即日設計」または「小論文」のどちらかを受験すること。 プレゼンテーションおよび面接 13:30～ ・プレゼンテーションの時間は2分とする。
			郵送提出 ○「ポートフォリオ1点」(面接終了後に返却) ・過去2年間の作品、論文などの研究成果をA3サイズのファイル形式によって、わかりやすくまとめたもの(40ページ以内)。 ・ポートフォリオで完結させること。外部へのリンク等を含んでいても、評価の対象となりません。
	デザイン情報学コース ※事前面談必須 P06参照	出願時 8月21日(金)～ 8月27日(木)	試験 ○「外国語(英語)」9:30～10:30 携行用具:鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具、英和辞書(電子辞書は不可) また外国人留学生は母国語と英語・日本語に関する辞書を携行してもよい。 ○「小論文」11:00～13:00 携行用具:鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具 ・ペン、下敷きの使用は認めない。 面接 14:30～ ・面接日に作品を持参しても、選考には含めませんので、持参しないでください。
		9月27日(日)	

※特定の携行用具の使用可否については、お問い合わせいただいても回答はできません。

募集要項記載内容をご自身で判断し、試験当日に持参した用具について試験監督に注意を受けた場合は、その指示に従ってください。

※提出作品自己作成証明書に記載されていない作品や、発表用のPC、タブレット等を面接時に持ち込むことはできません。

試験日程および提出物（A日程）

専攻	コース	日程	試験・提出物
造形構想専攻	クリエイティブリーダーシップコース	9月26日(土)	[一般方式]・[社会人方式] 試験 ○「小論文」10:00～12:00 日本語で出題する。日本語もしくは英語での解答が可能。 携行用具：鉛筆またはシャープペンシル（黒に限る/BもしくはHB）、消具 ・ペン、下敷きの使用は認めない。
		9月27日(日)	[一般方式]・[社会人方式] 持参提出 ○「活動実績および研究計画」 ・A4サイズ of 用紙片面4枚をホチキス留めでまとめたもの。冊子体は不可。コピーをとり同一のものを5部、面接時に提出。 面接 集合時間は試験前日までに大学 web サイト上に掲載。
	映像・写真コース	8月27日(木) 15:00必着	アップロード提出 大学 web サイト (https://www.musabi.ac.jp/admission/graduate/ma/) に掲載する、提出物アップロード用 URL から「大学院修士課程選抜 (A 日程)、研究生選抜 提出フォーム」にアクセスし、8月27日(木) 15:00までにデータのアップロードを完了させること。提出期限以降の提出は一切受け付けない。 ○提出物 A: 写真作品の場合 ①「ポートフォリオ」PDFデータ (100MB 以下) B: 映像作品の場合 ①「ポートフォリオ」PDFデータ (100MB 以下) ②「映像作品」閲覧 URL ・提出する動画データを YouTube または Vimeo にアップロードし、URL を「大学院修士課程選抜 (A 日程)、研究生選抜 提出フォーム」上から入力する。パスワードは設定しないこと。 ・自らが制作したものに限る。出演、道具、衣装等の関わりをのみ場合は本人の作品とみなさない。 ・提出できる動画は1本とする。規定時間60分に収まるよう編集すること。合計60分以内であれば作品数は問わない。 ・著作権の処理を済ませておくこと。 ・日本語以外の場合は日本語字幕をつけること。 ○「ポートフォリオ」 ・作品や関連する資料等をわかりやすくまとめたもの。 ・出力時に A4 サイズとなるように PDF ファイル (100MB 以下) にまとめること。 ・日本語以外の場合は日本語解説を添付すること。 ・写真作品はポートフォリオに含める。 ・動画作品は各作品のキャプチャー画像/タイトル/上映時間/制作時期/制作スタッフ(役割 & 氏名)/使用ソフトウェア/制作の経緯など、作品解説のための情報を記載。集団制作の場合は特に、自分の役割を明記すること。 提出されたポートフォリオ、作品に基づき第1次選考を実施する。 第1次選考合格者のみ面接の受験が可能。 第1次選考の結果は9月15日(火) 11:00に大学 web サイト (https://www.musabi.ac.jp/admission/graduate/ma/) に掲示する。
		9月27日(日)	面接 集合時間は試験前日までに大学 web サイト上に掲載。

※提出作品自己作成証明書に記載されていない作品や、発表用の PC、タブレット等を面接時に持ち込むことはできません。

試験日程および提出物（B日程）

専攻	コース	日程	試験・提出物
美術専攻	日本画コース	1月20日(水)	試験 ○「素描（木炭・鉛筆・コンテ・墨より自由選択）」9:30～16:30 携行用具:木炭、鉛筆、コンテ、墨、消具、カッターナイフ、フィクサティブ（定着液）、画紙またはクリップ、その他素描用具 ・木炭を使用する際の下敷き用紙は無地に限る。 ・バッテリー駆動、電力を使用する用具の使用は不可。
		1月21日(木)	持参提出 ※下記①②をすべて提出すること。 9:00～9:30に受験生本人が持参（面接終了後に返却） ①「近作2点」 ②「ポートフォリオ」 ・A4サイズのファイル1冊にまとめたもの 試験 ○「小論文」10:00～12:00 携行用具:鉛筆またはシャープペンシル（黒に限る/BもしくはHB）、消具 ・ペン、下敷きの使用は認めない。 面接 13:00～
	油絵コース	出願時 11月24日(火)～ 12月1日(火)	郵送提出 ○「ポートフォリオ」 ・A4サイズのファイル1冊にまとめたもの ※ポートフォリオに基づき第1次選考を実施する。第1次選考の結果は12月25日（金）11:00に本学webサイトに掲示する。
		1月20日(水)	試験 ○「小論文」10:00～12:00 携行用具:鉛筆またはシャープペンシル（黒に限る/BもしくはHB）、消具 ・ペン、下敷きの使用は認めない。 持参提出 13:00に受験生本人が作品を持って集合（時間厳守） 設置作業や機材の調整も含めて、14:00までに大学スタッフの提出確認が完了できる作品であること ○「近作2点」 ・提出に使用できるスペースは以下の通り（提出時はすべて床置き） 平面作品:縦260cm×横360cm その他立体作品等:縦260cm×横360cm×奥行100cm ・提出する作品が平面作品の場合で、2点を合わせたサイズが上記を超える場合、作品同士を重ねてスペースに収まるように提出すること。 ・絵画作品、立体作品を除く、インスタレーションまたはパフォーマンスを提出する場合は、作品を記録した写真または動画で提出すること。 ・5分以上の作品は5分以内に編集し、提出すること。 動画を提出する手順は以下の通り 1. 作品をYouTubeに投稿する。（限定公開設定を推奨） 動画タイトルに作品名、概要欄に氏名・コンセプト（80字以内）を表記すること。 2. 以下のWEBフォームを提出する。提出内容:氏名、マイページ整理番号、自己作品証明書記載の作品番号、作品名、作品種別、簡潔な動画内容、動画URL 3. 提出当日はA4サイズの用紙に必要事項を印刷し提出する。必要事項:投稿動画のQRコード、氏名、マイページ整理番号、自己作品証明書記載の作品番号、コンセプト（80字以内） 動画作品提出WEBフォーム： https://forms.cloud.microsoft/r/ZbS9Njc5QJ  ・提出された作品は面接の際、スタッフによって会場に移動の上、作品を見ながら面接を実施し、採点も同時に行われる。 ・暗室を使用した展示は不可。
		1月21日(木)	面接 集合時間は試験前日までに大学webサイト上に掲載
		1月22日(金)	作品返却 11:00に受験生本人が集合

※特定の携行用具の使用可否については、お問い合わせいただいても回答はできません。

募集要項記載内容をご自身で判断し、試験当日に持参した用具について試験監督に注意を受けた場合は、その指示に従ってください。

※提出作品自己作成証明書に記載されていない作品や、発表用のPC、タブレット等を面接時に持ち込むことはできません。

◆油絵コースにおけるAコース、Bコースの選択について

油絵コースの受験生は、出願時にweb出願システム上で、希望のコースを選択していただきます。

※全体の調整のために希望のコースを選択してもらいますが、最終的なコースの決定は各受験生の制作内容、資質、また全体のバランスを考慮して決定します。必ずしも希望したコースになるとは限りません。

Aコース	ものをよく見ることは自分自身を見つめるということでもあります。そこから派生するイメージの変容・構造など、個人から生み出される絵画の課題や可能性を追求します。 担当教員:今井俊介、小尾修、樺山祐和、小林孝亘、諏訪敦、水上泰財、吉川民仁
Bコース	絵画とは何だろう？ その根本的な意味を考え、絵画、立体、インスタレーション、映像など、さまざまなジャンルを柔軟にとらえ、美術に対する考えを深めていきます。 担当教員:小林耕平、関根直子、袴田京太郎、町田久美、丸山直文

試験日程および提出物（B日程）

専攻	コース	日程	試験・提出物
美術専攻	グラフィック アーツコース	1月21日(木)または 1月22日(金)	持参提出 ※各自の面接当日に下記①②をすべて提出すること。面接日時は試験前日までに大学webサイト上に掲載(面接日時の選択は不可) 9:00～9:30に受験生本人が持参(面接終了後に返却) ①「グラフィックアーツの概念に基づいた作品近作5点」 ・ 組み作品(複数の作品を組み合わせ全体で1点の作品とするもの)の場合、提出前にあらかじめ、自分で1枚のパネルや板、額などに貼り込んだ状態で提出すること。 ・ 組み作品をシート状態で持参した場合は、こちらで用意した「910mm×1820mm」の板[1枚分]に収まるように作品提出場所で組むこと。板を超えてしまうものは、自身で額装・パネル貼りにしてこること。 ・ 持参したパネル等の場合は、一人で運搬可能なサイズ・重量までとする。 ・ 映像作品の場合は、USBに収録して提出すること。(モニターはこちらで用意) ・ 作品の持参ができない大型インスタレーション作品、あるいは大がかりな設置作業が必要な場合は提出不可。 (ただし、インスタレーション作品の場合、展示風景等の写真を作品として提出することは可能) ・ マルティプルなどの立体作品についても、一人で運搬可能なサイズ・重量までとする。 ②「ポートフォリオ」 ・ A4サイズのファイル1冊に、作品画像をプリントアウトしてまとめたもの。 ・ 版画やドローイングなど作品の現物をファイルに入れることは不可。
		1月21日(木)	試験 ○「小論文」10:00～12:00 携行用具:鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具 ・ ペン、下敷きの使用は認めない。
		1月21日(木)または 1月22日(金)	面接 ○1月21日(木) 13:00以降または1月22日(金)のいずれかに実施 面接日時は試験前日までに大学webサイト上に掲載(面接日時の選択は不可)
	彫刻コース	1月19日(火)	持参提出 ※下記①②をすべて提出すること。 14:00(時間厳守)に受験生本人が作品を持って集合(面接終了後に返却) ①「近作2点」 室内展示とする。展示条件は以下のとおり。 ・ 1人当たりの展示スペースは床面積180cm×400cm以内。<u>搬入扉サイズ240cm×176cmから入られるもの</u> ・ 展示スペースに収まらない大規模なインスタレーションなどの作品については、<u>床面積に収まる形に集約の上で実物を提出し、全景写真をポートフォリオに封入すること</u> ・ 提出日の翌日に採点を行う。それまで提出時の状態を維持できるようにすること(映像作品の起動も含む)。維持が難しい場合は、完成状態の写真をポートフォリオに封入すること ・ 壁面の使用は不可 ・ 展示のための什器(台座、平面や映像作品展示用のイーゼル、スタンド、自立パネルなど)は自身で用意すること ・ 電気関係の機材および、映像関係のすべてのデバイスは自身で用意すること ・ 提出作品は、提出後に受験生および大学スタッフが触れることはできない ・ 展示する空間は、当日の試験監督の指示に従うこと ②「ポートフォリオ」 ・ A4サイズのファイル1冊にまとめたもの
		1月20日(水)	試験 ○「デッサン(描画材自由)」9:30～16:30 携行用具:描画材(木炭、鉛筆、コンテ等)、消具、カッターナイフ、フィクサティブ(定着液)、画鋲またはクリップ、その他デッサン用具 ・ バッテリー駆動、電力を使用する用具の使用は不可。
		1月21日(木)	試験 ○「小論文」10:00～12:00 携行用具:鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具 ・ ペン、下敷きの使用は認めない。 面接 13:00～

※特定の携行用具の使用可否については、お問い合わせいただいても回答はできません。

募集要項記載内容をご自身で判断し、試験当日に持参した用具について試験監督に注意を受けた場合は、その指示に従ってください。

※提出作品自己作成証明書に記載されていない作品や、発表用のPC、タブレット等を面接時に持ち込むことはできません。

㊦ 試験日程および提出物（B日程）

専攻	コース	日程	試験・提出物
美術専攻	美学美術史コース	11月24日(火)～ 1月6日(水) [必着]	郵送提出 ○「卒業論文または卒業制作」 ・卒業制作にはその創作意図について2,000字程度の解説を添えること。 ・大学卒業見込者、および、出身・在籍大学において卒業論文・卒業制作が必修でない者については、卒業論文等に代えて、研究計画書4,000字程度を提出してもよい。その場合、今までの研究・制作の状況と、大学院進学後の研究計画を具体的かつ明瞭に記述すること。 ・大学卒業後2年を超える場合は、最近の研究論文またはファイルも提出すること。
		1月21日(木)	試験 ○「小論文」10:00～12:00 携行用具：鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具 ○「外国語(英語)」12:30～13:30 携行用具：鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具、英和辞書(電子辞書は不可) また外国人留学生は母国語と英語・日本語に関する辞書を携行してもよい。 ○「専門基礎(筆記試験)」14:30～15:30 携行用具：鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具 ・ペン、下敷きの使用は認めない。 面接 16:30～
	芸術文化学コース ※事前面談 必須 P06参照	出願時 11月24日(火)～ 12月1日(火)	郵送提出 ※下記①②をすべて提出すること。 ①研究計画書(面接終了後に返却) ・芸術文化学コースで研究するテーマについて記入すること。 ・A4サイズの用紙を縦向きで使用し、横書きで1,200字程度とする。2枚以上になる場合は左上をホチキス留めすること。 ②論文(面接終了後に返却) ・芸術文化学コースで研究するテーマに関連した日本語の論文(20,000字以上)と、1,000字程度の要旨。 ・A4サイズの用紙を縦向きで使用し、横書きで各ページ30文字×40行とする。論文と要旨は一つにまとめ、左上をホチキス留めすること。 ・論文に加えて、希望者はこれまでの活動記録を提出してもよい。その場合、A4サイズのファイル1冊にまとめ、表紙に作品用氏名ラベルをつけること。
		1月21日(木)	試験 ○「小論文」10:00～12:00 携行用具：鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具 ○「外国語(英語)」12:30～13:30 携行用具：鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具、英和辞書(電子辞書は不可) また外国人留学生は母国語と英語・日本語に関する辞書を携行してもよい。 ・ペン、下敷きの使用は認めない。 面接 14:30～ ※日本語で実施

※特定の携行用具の使用可否については、お問い合わせいただいても回答はできません。

募集要項記載内容をご自身で判断し、試験当日に持参した用具について試験監督に注意を受けた場合は、その指示に従ってください。

※提出作品自己作成証明書に記載されていない作品や、発表用のPC、タブレット等を面接時に持ち込むことはできません。

試験日程および提出物（B日程）

専攻	コース	日程	試験・提出物
デザイン専攻	視覚伝達デザインコース	出願時【郵送】 11月24日(火)～ 12月1日(火)	郵送提出 ○「ポートフォリオ1点」 ・A3サイズのポートフォリオ1冊のみ(50ページ以内)。 ・作品の実物の挿入は認めない。 ・補助資料として、5分以内の動画(500MB以内、mp4形式)の提出を認める。USBフラッシュメモリで提出のこと。 ・上記以外の提出物は認めない。 ○「論文とその要旨」(希望者のみ) ・学位授与論文または発表済み論文。 ・論文に加え、400字詰め原稿用紙3枚以上に要旨をまとめたものをあわせて提出すること。 ※「ポートフォリオ」、「論文とその要旨(希望者のみ)」に基づき第1次選考を実施する。第1次選考の結果は12月25日(金)11:00に本学webサイトに掲示する。
		1月20日(水)	試験 ○「小論文」10:00～12:00 携行用具:鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具 ・ペン、下敷きの使用は認めない。
		1月21日(木)	面接 集合時間は試験前日までに大学webサイト上に掲載
	工芸工業デザインコース ※事前面談推奨 P06参照	出願時 11月24日(火)～ 12月1日(火)	郵送提出 ○大学院入学後の「研究計画書」 ・A4サイズ、書式自由、800字以上1,200字以内 ・必ず氏名を記載し、左上をホチキス留めすること(氏名は外国籍の場合はカタカナで記載)
		1月20日(水)	持参提出 ※下記①②をすべて提出すること。 8:00～8:50に受験生本人が持参(面接終了後に返却) ①「工芸工業デザインに関する作品3点以内」 ②「工芸工業デザインに関するポートフォリオまたは論文」 試験 ○「構想カテスト」9:00～12:00 携行用具:鉛筆またはシャープペンシル(BもしくはHB)、消具、アイディアを表現するためのスケッチ用具(鉛筆、色鉛筆等) ・バッテリー駆動、電力を使用する用具の使用は不可。
		1月20日(水) または 1月21日(木)	面接 ○1月20日(水)13:00以降または1月21日(木)のいずれかに実施 面接日時は試験前日までに大学webサイト上に掲載(面接日時の選択は不可)
	空間演出デザインコース	出願時 11月24日(火)～ 12月1日(火)	郵送提出 ○「ポートフォリオ」(面接終了後に返却)
		1月20日(水)	持参提出 8:00～8:50に受験生本人が持参(面接終了後に返却) ○「空間演出デザインに関する近作3点以内」 900mm×1200mm×1800mm以内のスペースに展示できること。 試験 ○「立体構成」9:00～12:00 携行用具:鉛筆、消具、カッターナイフ、カッターマットまたはカッター用台紙(A3)、直定規、三角定規、コンパス、ポスターカラーまたは不透明水彩絵具、筆、筆洗、絵皿皿、はさみ、接着剤、マスキングテープ ・カッターマットまたはカッター用台紙(A3)は必ず持参すること。 ・バッテリー駆動、電力を使用する用具の使用は不可。 面接 13:00～

※特定の携行用具の使用可否については、お問い合わせいただいても回答はできません。

募集要項記載内容をご自身で判断し、試験当日に持参した用具について試験監督に注意を受けた場合は、その指示に従ってください。

※提出作品自己作成証明書に記載されていない作品や、発表用のPC、タブレット等を面接時に持ち込むことはできません。

㊦ 試験日程および提出物（B日程）

専攻	コース	日程	試験・提出物
デザイン専攻	基礎デザイン学コース	出願時 11月24日(火)～ 12月1日(火)	郵送提出 ○「ポートフォリオ」 ・A3サイズのファイル1冊にまとめたもの。 ・提出は郵送に限る。持参提出は不可。 ・映像(動画)を提出する場合、ポートフォリオに加え、mov形式で保存したDVDあるいはUSBを提出すること。作品が3分以上である場合、3分の要約版をつけること。USBで提出する場合、巻末の「USB専用作品用氏名ラベル」に貼付して提出すること。 ・立体作品については写真をポートフォリオに掲載、またはDVD、USBに映像を収録して提出すること。
		1月20日(水)	試験 ○「小論文」10:00～12:00 携行用具:鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具 ○「外国語(英語)」12:30～13:30 携行用具:鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具、英和辞書(電子辞書は不可) また外国人留学生は母国語と英語・日本語に関する辞書を携行してもよい。 ・ペン、下敷きの使用は認めない。 面接 14:30～

※特定の携行用具の使用可否については、お問い合わせいただいても回答はできません。

募集要項記載内容をご自身で判断し、試験当日に持参した用具について試験監督に注意を受けた場合は、その指示に従ってください。

※提出作品自己作成証明書に記載されていない作品や、発表用のPC、タブレット等を面接時に持ち込むことはできません。

試験日程および提出物（B日程）

専攻	コース	日程	試験・提出物
造形構想専攻	クリエイティブリーダーシップコース	1月20日(水)	[一般方式]・[社会人方式] 試験 ○「小論文」10:00～12:00 日本語で出題する。日本語もしくは英語での解答が可能。 携行用具:鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具 ・ペン、下敷きの使用は認めない。
		1月21日(木)	[一般方式]・[社会人方式] 持参提出 ○「活動実績および研究計画」 ・A4サイズ用の紙片4枚をホチキス留めでまとめたもの。冊子体は不可。コピーをとり同一のものを5部、面接時に提出。 面接 集合時間は試験前日までに大学webサイト上に掲載。
	映像・写真コース	1月6日(水) 15:00必着	アップロード提出 大学webサイト(https://www.musabi.ac.jp/admission/graduate/ma/)に掲載する、提出物アップロード用URLから「大学院修士課程選抜(B日程)提出フォーム」にアクセスし、1月6日(水)15:00までにデータのアップロードを完了させること。提出期限以降の提出は一切受け付けない。 ○提出物 A:写真作品の場合 ①「ポートフォリオ」PDFデータ(100MB以下) B:映像作品の場合 ①「ポートフォリオ」PDFデータ(100MB以下) ②「映像作品」閲覧URL ・提出する動画データをYouTubeまたはVimeoにアップロードし、URLを「大学院修士課程選抜(B日程)提出フォーム」上から入力する。パスワードは設定しないこと。 ・自らが制作したものに限る。出演、道具、衣装等の関わりのみの場合は本人の作品とみなさない。 ・提出できる動画は1本とする。規定時間60分に収まるよう編集すること。合計60分以内であれば作品数は問わない。 ・著作権の処理を済ませておくこと。 ・日本語以外の場合は日本語字幕をつけること。
		1月20日(水)	試験 ○「小論文」10:00～11:30 携行用具:鉛筆またはシャープペンシル(黒に限る/BもしくはHB)、消具 ・ペン、下敷きの使用は認めない。 面接 13:00～
			○「ポートフォリオ」 ・作品や関連する資料等をわかりやすくまとめたもの。 ・出力時にA4サイズとなるようにPDFファイル(100MB以下)にまとめること。 ・日本語以外の場合は日本語解説を添付すること。 ・写真作品はポートフォリオに含める。 ・動画作品は各作品のキャプチャー画像/タイトル/上映時間/制作時期/制作スタッフ(役割&氏名)/使用ソフトウェア/制作の経緯など、作品解説のための情報を記載。集団制作の場合は特に、自分の役割を明記すること。

※提出作品自己作成証明書に記載されていない作品や、発表用のPC、タブレット等を面接時に持ち込むことはできません。

作品提出

○作品用氏名ラベル(映像・写真コースは不要)

※すべての提出作品には1点につき1枚の作品用氏名ラベルを外から見える位置に貼り付けてください(研究計画書には不要です)。

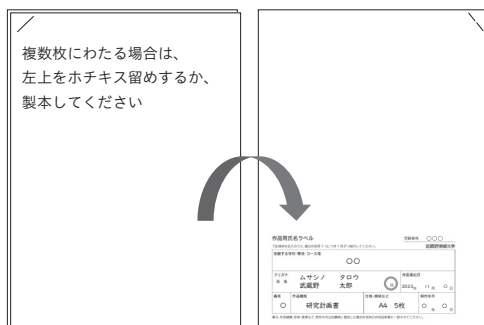
※記載内容は出願時に提出する提出作品自己作成証明書と一致させてください。

※視覚伝達デザインコース、基礎デザイン学コースでUSBを提出する場合、USB 専用作品用氏名ラベルを使用してください。



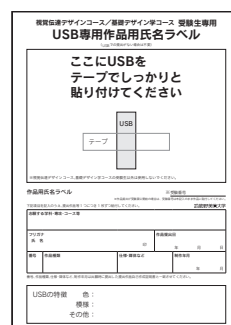
ポートフォリオ等冊子類の場合

外から見える位置に
作品用氏名ラベルを貼り付けてください



論文等紙媒体の場合

裏面の下部に作品用氏名ラベルを貼り付けてください



USBの場合

※視覚伝達デザインコース、
基礎デザイン学コースのみ

本体にもサインペン等で氏名を記載してください
(外国籍の場合はカタカナで記載)

○郵送提出

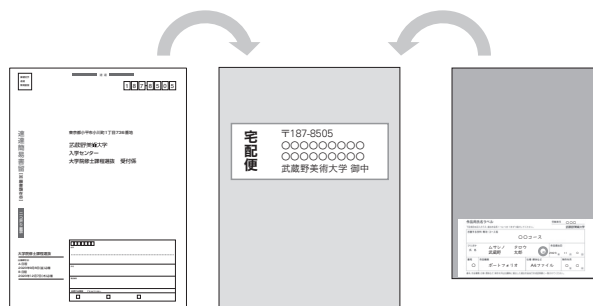
※郵送提出と指示があるものは、武蔵野美術大学入学センターに作品提出期間内に送付してください。

※日本国内から郵送の場合は提出期限最終日消印有効、日本国外から郵送の場合は提出期限最終日必着となります。

※「出願時に郵送提出」と指示があるものは、原則として、下図のとおり出願書類と同封・同梱してください。

※やむを得ない場合は出願書類と別に送付しても構いませんが、その際は必ず書留や宅配便、EMSやDHLなど追跡可能な方法で送付してください。

※ポートフォリオは郵送・保管・審査・返送時に破損しないように作成してください。



出願書類と作品を同梱する

※同梱する場合も、出願書類は必ず宛名ラベルを貼り付けた角2サイズの封筒に入れてください。

○持参提出

※作品提出日時、場所は試験日前日までに武蔵野美術大学 web サイト

(https://www.musabi.ac.jp/exam_info/)に掲載します。必ず確認してください。

※ポートフォリオ、作品は搬入・保管・審査・搬出時に破損しないように留意してください。

○備品

※作品に係る備品、運搬機材等の貸し出しは行いません。

※作品提出に必要な備品等はすべて持参してください。

(例: 作品をトルソーに着せた状態で提出したい場合は、トルソーを持参してください)

○作品返却

油絵コース以外は、面接終了後に作品を返却します。

なお、油絵コース、視覚伝達デザインコースの第1次選考不合格者については、結果発表の翌月を目途に、ポートフォリオを郵送返却します。

※海外在住で返却希望の方は、受取可能な日本国内住所を出願登録時にご記載ください。

※大学より発送後に配達できず返送された場合、または海外住所の場合は、翌年4月まで保管し、その後破棄します。返却希望の方は、期限内に入学センターへお越しください。

○受験生以外の作品搬入を手伝う方の入構、車での来校

- *作品提出を一人で行うことが困難な場合に限り、必要最小限の人数で、受験生以外の方の入構、車での来校が可能です。
- *入構時は必ず、受験票を持った受験生と一緒に正門から入構してください。
- *感染症に罹患している方は入構できません。
- *車で来校した場合は、正門での指示に従って車を駐車場所に移動してください。
- *作品搬入が完了したら、受験生以外の方は速やかに退構してください。
- *試験終了や作品返却時まで構内で待機すること、車を駐車したままにすることはできません。
- *作品返却時に手伝いや車での搬出が必要な場合は、受験生と連絡を取り、作品返却時に再度入構してください。

☐ 入学試験場

鷹の台キャンパス(東京都小平市小川町1-736) (P26「本学へのアクセス」参照)

*試験教室、作品等の提出場所等は、試験前日までに大学 web サイト(https://www.musabi.ac.jp/exam_info/)にて発表します。
必ず来校前に確認してください。

*大学では駐車場を用意しておりません。公共交通機関を利用してください。

自家用車等での送迎は、路上駐停車により近隣にお住まいの方の迷惑となりますので、ご遠慮ください。

☐ 受験上の注意

入構	入構受付時に受験票を確認しますので、あらかじめカバン等から出しておいてください。開門時間以降試験開始の30分前までに入構するようにしてください。 受験生は試験終了まで試験場から退出することはできません。受験生以外は入構できません。控室也没有ありません。
受験票	プリントアウトした受験票を必ず携帯してください。試験当日、受験票を忘れたり、紛失・汚損したときは、入学センターまで申し出てください。受験票の再発行には時間を要することがありますが、そのことによる試験時間の延長等はありません。
時計	試験場には時計はありません。必要の場合は持参してください。使用する際はアラーム音等を必ず切ってください。また、携帯電話・スマートフォンを時計代わりに使用することは禁止します。スマートウォッチの使用も禁止します。
携帯電話・スマートフォン・その他の電子機器類	試験場内での携帯電話・スマートフォンおよびスマートウォッチ、タブレット、電子辞書、計算・辞書・通信・撮影機能のあるウェアラブル端末、イヤホン、その他電子機器類の使用は一切禁止します。試験場に入室する前に必ず電源を切り、カバンにしまってください。 試験時間中、上記電子機器類をカバンにしまわず、身につけていた場合は不正行為とみなすことがあります。
試験中	実技試験の用紙、キャンバスおよびイーゼル等は本学で用意するものを使用します。 実技試験によっては、当日試験場にて席順を抽選で決めるものもあります。 答案用紙の指定された氏名欄以外への本人の氏名、受験番号等の記載を禁じます。 試験時間中に発病その他の事故などが起きたときは、試験監督へ申し出て指示に従ってください。
小論文・外国語・専門基礎等の筆記試験	小論文・外国語・専門基礎等の筆記試験の際に机の上に置けるのは携行用具の他に鉛筆削り、時計、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー(中身だけ取り出したもの)、目薬のみです。 座布団、クッション、ひざかけ、レッグウォーマー等は無地のものに限り使用できます。
失格	受験すべき科目を1科目でも受験できなかった場合は失格(不合格)となり、以降の試験科目は受験できません。
服装	英文字、地図がプリントされている衣服は着用しないでください。着用している場合、脱いでもらうことがあります。また、試験時間中に換気を行うことがあります。最大限の防寒対策を施した上で来校し、試験中に体温調整ができるように準備してください。
感染症	試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(インフルエンザ、結核、はしか、新型コロナウイルス感染症等)に罹患している場合は、他の受験生や試験監督等への感染の恐れがあるため、受験をお断りします。 なお、この場合であっても追試験等の特別措置は行いません。
昼食	試験が午前・午後にわたる場合は、昼食を持参してください。食堂を利用することや、構外に買いに出ることはできません。
解答	試験の解答の所有権、著作権は本学に帰属し、解答用紙等の返却はいたしません。また、本学の入試資料として入学試験問題集や入学試験ガイド、本学 web サイト等に掲載、進学説明会等で展示することがあります。

☐ 不正行為

以下に例示した行為をした場合、不正行為とみなすことがあります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止、退室を命じ、以降の受験は認めません。また、受験したすべての科目の成績を無効とします。状況によっては、警察に被害届を出す場合があります。なお、入学検定料は返還しません。

- ①出願の際に提出した書類、資料、情報等に偽造、虚偽記載(本人以外の写真を使用する等)、剽窃等があった場合。
- ②カンニング(カンニングペーパー・参考書・スケッチブック・スクラップブック等の素材集を使用する、学力試験・小論文等において他の受験者の答案等を見る、他の者から答えを教わる等)をすること。
- ③他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ④試験開始の指示の前に問題を見る、解答を始める、裏面・余白等に書き込みを行うこと。
- ⑤試験中断、終了の指示に従わず、用具を持っている、解答を続けること。
- ⑥試験時間中に携帯電話、スマートフォン、タブレット、スマートウォッチ、電子辞書、計算・辞書・通信・撮影機能のあるウェアラブル端末、イヤホン、その他電子機器類等をカバンなどにしまわず、手に持ったり、身につけていること。
- ⑦試験時間中に携帯電話、スマートフォン、タブレット、スマートウォッチ、電子辞書、計算・辞書・通信・撮影機能のあるウェアラブル端末、イヤホン、その他電子機器類等を使用すること。
- ⑧試験時間中に携帯電話・スマートフォン・時計の音(着信音、振動音、アラーム等)を鳴らすこと。
- ⑨他の受験者と用具の貸し借りや私語をすること。
- ⑩試験に関することについて、自身や他の受験生を利するような虚偽の申出をすること。
- ⑪試験時間中に試験監督の許可なく自席を離れること。
- ⑫試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑬試験場において試験監督の指示に従わないこと。
- ⑭その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

入学手続

合格者に対して入学手続書類の郵送はありません。

入学手続については、大学webページに掲載する「入学手続要項」を確認のうえ手続してください。

【出願マイページ】の【入学手続】より、入学手続システムにログインして手続してください。

詳細は「入学手続要項」を参照し、期限までに手続を終えてください。

<https://www.musabi.ac.jp/admission/successful/>

手続期限 A日程 入 学 金 ・ 授 業 料 等 の 納 入:2026年10月29日(木)

学籍情報の登録、入学手続書類の郵送:2026年11月 2日(月)

B日程 入 学 金 ・ 授 業 料 等 の 納 入:2027年 2月22日(月)

学籍情報の登録、入学手続書類の郵送:2027年 2月25日(木)

入学手続に関する注意

本学の入学手続については、特に以下の点に注意してください。

(1)

以下の場合、いかなる事情があったとしても、既に入学意思を放棄したものとして入学手続は認められず、入学の資格を失います。また、原則として、支払い済みの所定金額は放棄したものとみなし、返還しません。

- ・本要項に定める所定の期間内に、入学に必要な費用の支払い、またはマイページ「入学手続」上での入学手続情報の登録等の手続を部分的にしか行っていない場合、もしくは全く行っていない場合

※補欠者が入学許可された場合の手続締切は、マイページ「入学手続」上に表示されます。

- ・本要項に定める所定の手続期間(締切日)後に手続を行った場合

(2)

手続に関し、登録内容や書類の不備・不足の場合等を除き、大学から入学手続未了者に対して個別に催促の通知はしません。各自の責任で手続を完了してください。

(3)

所定の期間内に入学手続を完了することにより、在学契約が成立し、2027年4月1日から本学の学生の身分を取得します。

補 欠 に つ い て

コースによって補欠者を設けることがあります。

補欠者は合格者の入学手続状況により欠員が生じた場合に繰上合格となる可能性のある候補者のことを指します。

繰り上がりが発生した際は、2027年2月24日(水)から3月31日(水)までの間に、対象者に随時連絡します。

補欠者の繰り上げは総点の高得点順に行いますが、コースの中にさらにコース分けがある場合は、分けられたコースごとに繰り上げを行います。

在 留 資 格 「 留 学 」 の 取 得 に つ い て

外国籍で日本に居住していない(在留資格を持っていない)方および入学までに在留期限が切れる方は、入学手続とあわせて、在留資格の取得または在留期間の更新が必要です。

「留学」の在留資格申請のためには、まず代理人(武蔵野美術大学)が、日本国内の法務省出入国在留管理庁(入国管理局)に「在留資格認定証明書(COE)」の交付申請を行う必要があります。詳細については、合格者向けwebサイトにてご確認ください。

在留資格認定証明書の代理申請や在留期間更新・在留資格変更の申請に必要な資料の作成は、入学手続の完了確認後です。希望する場合は、入学手続締切日にかかわらず、合格確認後、速やかに入学手続を完了してください。

詳細は国際チーム(留学生担当)(e-mail:ryugaku@musabi.ac.jp)へ問い合わせてください。

なお、在留資格が「留学」である方は、修学環境の整備に関する諸費用相当分として留学生修学環境整備費(年間363,000円)を納入いただきます。

※外国人留学生で、2027年2月以降に出入国在留管理庁より「在留資格認定証明書」または、「在留資格『留学』」が不交付となった場合は、自動的に入学取り消しとなります。

☐ 学 費 等

【学費】

2027年度の学費は以下のとおりです。

[在留資格が「留学」以外の方]

	前期分(入学手続時)	後期分(9月)
入学金※1	130,000円	
授業料	635,000円	635,000円
施設設備費※2	177,500円～220,000円	177,500円～220,000円
維持費	20,000円	20,000円
合計※3	962,500円～1,005,000円	832,500円～875,000円

[在留資格が「留学」の方]

	前期分(入学手続時)	後期分(9月)
入学金※1	130,000円	
授業料	635,000円	635,000円
施設設備費※2	177,500円～220,000円	177,500円～220,000円
維持費	20,000円	20,000円
留学生修学環境整備費※4	181,500円	181,500円
合計※3	1,144,000円～1,186,500円	1,014,000円～1,056,500円

※1 本学卒業者および卒業見込者の入学金は、上記にかかわらず65,000円とします。

※2 施設設備費はコースによって異なります。表をご参照ください。

※3 その他、入学時には別途、学生教育研究災害傷害保険料および学研災付帯賠償責任保険料合計2,430円(予定)が徴収されます。

【施設設備費(6か月分)】

2027年度のコースごとの施設設備費は以下のとおりです。

専攻	コース	施設設備費
美術専攻	日本画コース	212,500円
	油絵コース	212,500円
	グラフィックアーツコース	212,500円
	彫刻コース	220,000円
	美学美術史コース	177,500円
	芸術文化学コース	205,000円
デザイン専攻	視覚伝達デザインコース	205,000円
	工芸工業デザインコース	220,000円
	空間演出デザインコース	205,000円
	建築コース	205,000円
	基礎デザイン学コース	205,000円
	デザイン情報学コース	212,500円
造形構想専攻	クリエイティブリーダーシップコース	205,000円
	映像・写真コース	205,000円

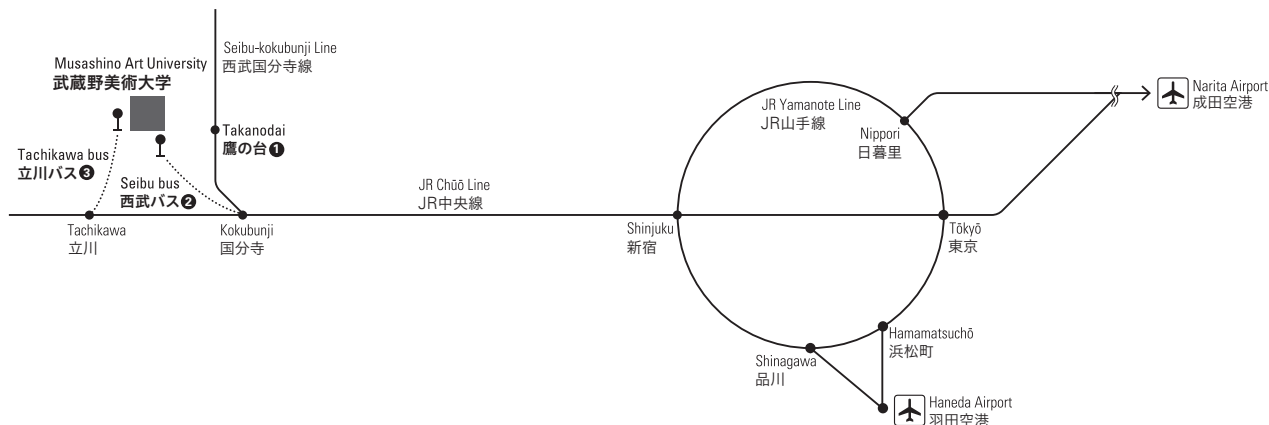
※4 本学卒業者および卒業見込者(学部研究生は該当しない)の留学生修学環境整備費は、上記にかかわらず免除します。

各コースの教育

美術専攻	日本画	学部で培った日本画の基礎技法や表現に関わる思考を踏まえ、より自己言及的に意識を深め研究、制作を積み重ねていきます。年間で1000号以上を目安として、各自が自主的に研究計画を立てて制作を行います。 【日本画研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ】では特別講義やゼミ授業を通し、様々な作家の作品やその根拠となる思考を研究し自己の表現を深めます。 修了後の制作活動を見据えて研究、制作を行い2年間の成果を修了制作展で発表します。
	油絵	学部4年間での成果を改めて捉え直し、さらなる展開を目指します。担当教員と作品の問題点や方向性を共有しつつ、さらに専門的に制作を推し進めていきます。大学院は学生でありながら作家活動を本格的に始める時期でもあり、外の世界に対する意識と、作品そのものを深く思考する意識のバランスが重要です。美術史やアートシーンを見据えつつ、制作者としての自身を客観的に捉えながら、画家や美術家になるためのステップを一步一步進んでいきます。
	グラフィックアーツ	学生が担当教員と相談しながら、自主的に定めた年間研究計画に沿って、個々の制作を進めていきます。独創性に富んだテーマによる新しい表現世界の追求を可能とするのは、世界最大級の大規模銅版画プレス機や、豊富な石版石のストック、大学院生専用の個人制作ブースなど、恵まれた制作環境を実現した専門性の高い版画工房の存在です。銅版画、リトグラフ、木版画、シルクスクリーンなどの版画表現に加え、絵本、ブックアート、イラストレーション、写真、デジタル表現などグラフィックアーツとしての多様な広がりを、縦横無尽に展開するための強力な磁場となることを目指し、次世代の新しい表現の地平を切り拓く人材の育成を図っていきます。
	彫刻	将来彫刻家、美術家を目指す者として専門性を深め、そのための情報を受信し、社会に向けて自己の表現を発信する2年間です。大学院を学部4年間の単なる延長としてではなく、変転する価値観の中で美術の在り方を研究室とともに考察し、時には学部生をリードする立場を取りながら、自己の専門性を確立する過程として位置づけています。自己の表現、専門分野への批評的な視点を育てるために、美術批評をはじめとした他領域との交流や協働も積極的に進めていきます。
	美学美術史	造形表現についての理論的な方法と、美術作品の特質を歴史的観点から捉える方法を体系的に学びます。修士課程では各学生の専門分野に限定せず、さまざまな時代・地域・分野の造形表現を理解する姿勢を身につけることを重視しながら、総合的な教育を行います。柔軟な知性と感性をもって美術作品に接し、作品の観察と解釈を基盤に据えた研究を行い、その成果を明晰な言葉で伝える力を養うことを目指します。
	芸術文化学	社会におけるアートやデザインの意義をとらえ、芸術文化の社会での活用について研究・実践・表現等の活動を行う「芸術文化学」の高度な専門性を身につけることを目指します。そのため、アート・デザインを基盤とした、芸術文化領域のプランニング・マネジメント・ミュージオロジーを主軸として、様々な専門領域とそれらを越境する視点から、理論と実践を通じて領域横断的に学修・研究します。
デザイン専攻	視覚伝達デザイン	私達はヴィジュアル・コミュニケーション・デザインを、言語・イメージ・音声・身振り・行動など(非言語を含む)多様なメッセージを、様々なメディアを通して人や環境に働きかける相互作用的でダイナミックな認知と行動のプロセスと捉えています。本コースはその視点から実践と理論研究を行い、それぞれのテーマに対するデザイン・メソッドや理論の模索を通して自己の専門分野の確立を目指します。記号論、コミュニケーション史、生態学的知覚論、視覚言語などの基礎理論を背景に、主たる専門領域はライティング・スペース、グラフィック、映像、情報、環境デザインです。
	工芸工業デザイン	インダストリアルデザイン、インテリアデザイン、クラフトデザインの各領域があり、クラフトデザインは素材別に金工、木工、陶磁、ガラス、テキスタイルに分かれています。学生は各自の領域を中心に研究を進めますが、人間の生活と関わる仕事を成し遂げるためには、広い視野を持ち、様々な角度から問題を検討することが必要です。そのため、担当教員の指導に限らず、関連領域の方々から指導や助言を得られる協力体制を整えています。
	空間演出デザイン	空間演出デザインコースは、「舞台芸術空間デザイン」「インテリアデザイン」「環境メディアデザイン」「ファッションデザイン」の4つの領域で構成され、各々の4つの領域を横断する理念として「造空思考」を掲げます。 造空思考とは、地と図という言葉で表現されるように、作り出されるカタチには、必ずカタチを内包する空間が同時に作り出される、つまり、カタチをつくる「造形」とは、空間をつくる「造空」と同意である。という考えから空間を演出することを思索する思考です。 当コースでは、造形＝モノをつくる、表現するというモノ中心の視座ではなく、造形と空間を同じ意識で考える「造空思考」を基にした表現・手法・理論の研究と実践を教育の目標として定め、修了後、アーティスト、デザイナー、技術者など、「造空思考」の専門家として、世界のあらゆる社会、場所において、独創的な作品、アイデア、指針を提案できる人材、また、各々の領域で後進を育てることができる人材を育成します。
	建築	学部での設計や研究をもとに、建築が成立している社会的背景を意識して研究や制作をさらに深めていきます。各専任教員の専門分野が反映されるスタジオに所属し、プロジェクトや研究を実践。関係領域の教員の助力によって広範囲に展開していきます。また、一級建築士試験に必要な2年の実務経験要件を満たす【建築設計実習】と【建築設計インターンシップ】を設けており、より実務的な内容を履修することも可能です。
	基礎デザイン学	デザインの各専門領域や造形に通底する問題、あるいはデザイン論やデザイン史、形態、色彩についての諸説や歴史を、情報・通信をはじめとする技術革新や産業・生活構造、社会変革の中に位置づけながら、社会的・人間的・文明的な文脈において研究します。情報やメディアのためのデザイン、社会のためのデザイン、システムのデザインなど、新たな研究領域における問題の理解や解決、批判、デザインの提案についても、問題を総合的に捉える思考と方法論を身につけます。
造形構想専攻	デザイン情報学	社会性を考慮した論理的アプローチと美を求めた感覚的アプローチの両面で成り立っています。デザイン情報学コースは論理に基づくデザイン提案だけでなく、感覚的な思考のプロセスを分解し、新たに研究制作として構築することを期待します。また、指導教員の研究分野である「メディア表現系」「デジタル技術系」「コミュニケーション創発系」の3つの専門領域を中心としながらも、それらを横断的な視座で捉えた研究を試みます。修士の最終成果は[1]メディアやデザインなどシステムの提案、[2]コンテンツ・表現の研究論文、[3]上記に関連する作品制作を目標とします。
	クリエイティブリーダーシップ	アイデアや仕組みづくりのできる「創造的思考力」をもとに、徹底したプロジェクト実践型のカリキュラムで、実社会でチームを率いるクリエイティブリーダーシップを高めます。造形構想学部クリエイティブイノベーション学科との共同によるプロジェクト実施でプロジェクトマネジメントを経験したり、スタートアップ研究などで新しいビジネスやサービスを生み出す方法を学ぶことが可能です。クリエイティブマネジメントや、起業・スタートアップ、ビジネス戦略といったフィールドで活躍する人材を育成します。また、修士研究を通して、研究として探求する能力を高めます。
	映像・写真	映像はその境界をなくし、今や他のどんな領域ともつながっています。映像・写真コースでは、だからこそ「映像であること」「写真であること」に拘り、学生独自の、且つ本コース独自の映像と写真の確立を目指します。ドラマ映画、写真、CG & アニメーション、メディアアート、インスタレーションなど、芸術としての映像から、デザインとしての映像と、映像展示の空間までを本コースの範囲とし、作品制作を研究の基本とします。また、社会に機能する映像・写真の新たな役割と活用についても研究の範囲に加えます。

本学へのアクセス

路線図



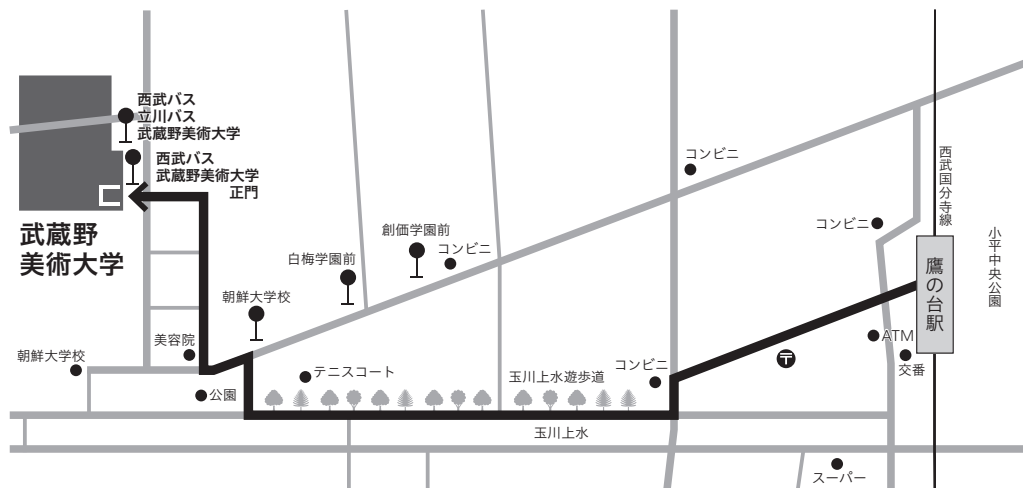
最寄り駅からのアクセス（鷹の台キャンパス）

① 西武国分寺線「鷹の台」

駅下車徒歩18分

入学試験で来校の場合、バスは道路事情等により遅れることがあるので、この経路を利用することをおすすめします。

- ◎ JR中央線から「国分寺」駅乗換、「東村山」行（2駅目）
- ◎ 西武新宿線から「東村山」駅乗換、「国分寺」行（2駅目）



② 西武バス「武蔵野美術大学正門」

停留所下車すぐ

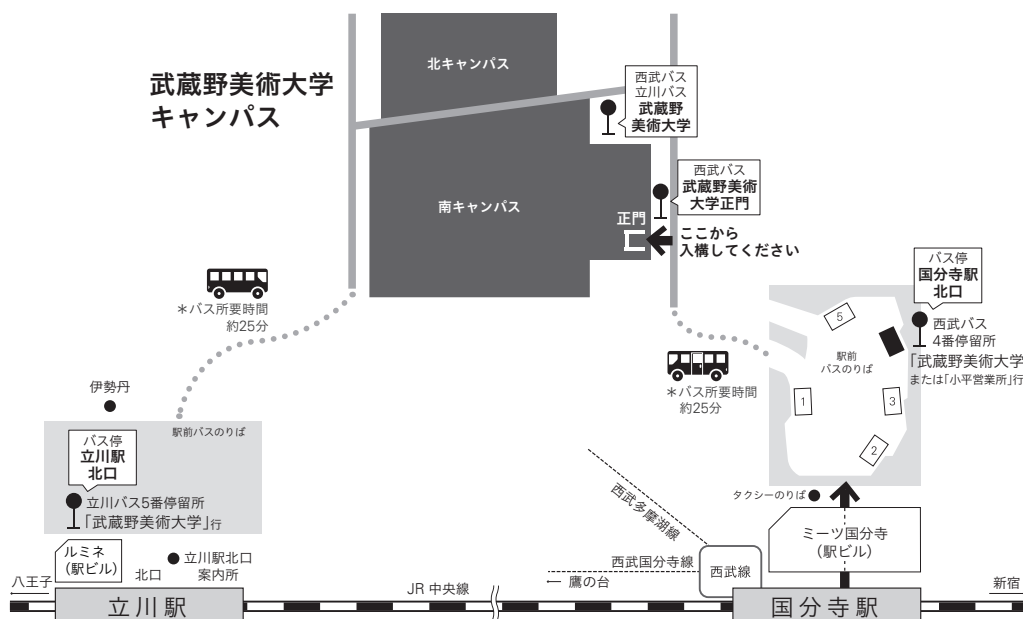
- ◎ JR中央線「国分寺」駅北口下車「国分寺駅北口」4番停留所より「武蔵野美術大学」行または「小平営業所」行に乗車（バス所要時間：約25分）

※ 試験日によっては、別の乗り場から臨時便が出る場合があります。乗り場近くの誘導員などの案内に従ってください。

③ 立川バス「武蔵野美術大学」

停留所下車すぐ

- ◎ JR中央線「立川」駅北口下車「立川駅北口」5番停留所より「武蔵野美術大学」行に乗車（バス所要時間：約25分）



修士課程（A・B日程）

作品用氏名ラベル

※受験番号

※作品提出が受験票公開前の場合は、受験番号は未記入のまま作品に貼付してください。

下記項目を記入のうえ、提出作品等 1 つにつき 1 枚ずつ貼付してください。

武蔵野美術大学

志願する学科・専攻・コース等			
フリガナ 氏 名		作品提出日	
印		年	月 日
番号	作品種類	仕様・媒体など	制作年月
			年 月

番号、作品種類、仕様・媒体など、制作年月は出願時に提出した提出作品自己作成証明書と一致させてください。

作品用氏名ラベル

※受験番号

※作品提出が受験票公開前の場合は、受験番号は未記入のまま作品に貼付してください。

下記項目を記入のうえ、提出作品等 1 つにつき 1 枚ずつ貼付してください。

武蔵野美術大学

志願する学科・専攻・コース等			
フリガナ 氏 名		作品提出日	
印		年	月 日
番号	作品種類	仕様・媒体など	制作年月
			年 月

番号、作品種類、仕様・媒体など、制作年月は出願時に提出した提出作品自己作成証明書と一致させてください。

作品用氏名ラベル

※受験番号

※作品提出が受験票公開前の場合は、受験番号は未記入のまま作品に貼付してください。

下記項目を記入のうえ、提出作品等 1 つにつき 1 枚ずつ貼付してください。

武蔵野美術大学

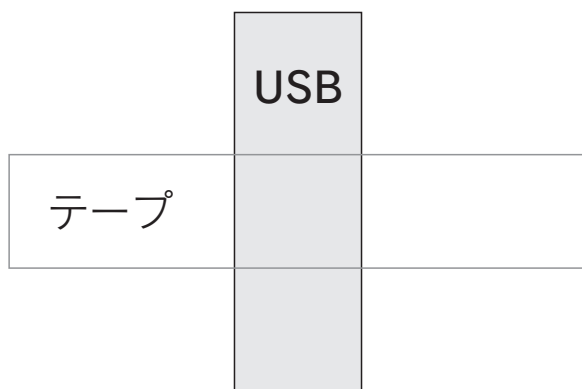
志願する学科・専攻・コース等			
フリガナ 氏 名		作品提出日	
印		年	月 日
番号	作品種類	仕様・媒体など	制作年月
			年 月

番号、作品種類、仕様・媒体など、制作年月は出願時に提出した提出作品自己作成証明書と一致させてください。

USB専用作品用氏名ラベル

(USBでの提出がない場合は不要)

ここにUSBを
テープでしっかりと
貼り付けてください



※視覚伝達デザインコース、基礎デザイン学コースの受験生以外は使用しないでください。

作品用氏名ラベル

※受験番号

※作品提出が受験票公開前の場合は、受験番号は未記入のまま作品に貼付してください。

下記項目を記入のうえ、提出作品等 1 つにつき 1 枚ずつ貼付してください。

武蔵野美術大学

志願する学科・専攻・コース等			
フリガナ 氏 名		印	作品提出日 年 月 日
番号	作品種類	仕様・媒体など	制作年月 年 月

番号、作品種類、仕様・媒体など、制作年月は出願時に提出した提出作品自己作成証明書と一致させてください。

USBの特徴 色：
模様：
その他：

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A 4 サイズファイル 1 冊	2026 年 11 月
2	日本画	5 0 号	2025 年 4 月～2026 年 3 月
3	日本画	5 0 号	2026 年 1 月～2026 年 7 月

作品番号および作品種類は作品に貼付する作品用氏名ラベルと一致させてください。

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

サイズは詳細に記入してください。

以上 3 点

2026 年 11 月 25 日

志望学科・専攻・コース 日本画コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

コダイラ ハナコ
小平 花子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 11 月 25 日

- ・指導教員より証明を得てください。
- ・日本語学校等に通っている者は、日本語学校等の教員の証明も可とします。
- ・家族、親族、友人は不可です。

所属(職位) 武蔵野美術大学 教授

証明者氏名(自署)

小川 太郎

印

誓約者との間柄

指導教員

必ず捺印してください。外国籍の方は印のかわりにサインでも構いません。

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

XXXXXXXXXX@XXXX.XX.XX

※証明内容について問い合わせることがあります。

※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A4サイズファイル1冊	
2			
3			

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

以上 3 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース 日本画コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

証明者氏名(自署)

印

誓約者との間柄

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

作品番号および
作品種類は作品
に貼付する作品
用氏名ラベルと
一致させてくだ
さい。

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含
れる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。
なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

作品番号	作品種類	サイズ	素材、備考 (仕様や特記事項など)	制作年月
1	ポートフォリオ	A4サイズファイル1冊		2026年11月
2	平面・立体・ その他	縦 横 奥行 動画作品の場合はサイズを記入しない。 cm/cm/cm	3分20秒の動画	2025年4月～ 2026年3月
3	平面 ・立体・その他	縦 横 奥行 91 cm/ 146 cm/ - cm	F30号2枚の組作品	2026年1月～ 2026年7月

下記説明をよく
読み、当て
はまる作品種
類に○をつけ
てください。

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留め、提出物と一緒に提出すること。
※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。
※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

・持参する付属品等も含めたサイズを記入すること。
・組作品は全体のサイズを詳細に記入する。

平面作品：イーゼル等に立てかけて審査が可能なもの（デッサン等紙作品でカルトンが必要な場合はその旨を備考欄に記載）
立体作品：自立または壁面等に立てかけての審査が可能なもの（自立するための付属品等も含まれます）
手に取れるもの（書籍形式の作品等）は詳細や希望を備考欄に記入
その他：インスタレーション作品、パフォーマンス作品、映像作品等→記録写真
または映像として提出

以上 3 点

2026 年 11 月 25 日

志望学科・専攻・コース

油 絵 コ ー ス

フリガナ
誓約者氏名(自署)コダイラ ハナコ
小平 花子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、
誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、
証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 11 月 25 日

・指導教員より証明を得てください。
・日本語学校等に通っている者は、日本語学校等の教員の証明も可
とします。
・家族、親族、友人は不可です。

所属(職位)

武蔵野美術大学 教授

証明者氏名(自署)

小 川 太 郎



誓約者との間柄

指導教員

必ず捺印してください。外国籍の方は
印のかわりにサインでも構いません。

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

XXXXXXXXXX@XXXX.XX.XX

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027 年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。
なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	サイズ	素材、備考 (仕様や特記事項など)	制作年月
1	ポートフォリオ	A4サイズファイル1冊		
2	平面・立体・その他	縦 横 奥行 cm/ cm/ cm		
3	平面・立体・その他	縦 横 奥行 cm/ cm/ cm		

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。
※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。
※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。
平面作品：イーゼル等に立てかけて審査が可能なもの（デッサン等紙作品でカルトンが必要な場合はその旨を備考欄に記載）
立体作品：自立または壁面等に立てかけての審査が可能なもの（自立するための付属品等も含まれます）
手に取れるもの（書籍形式の作品等）は詳細や希望を備考欄に記入
その他：インスタレーション作品、パフォーマンス作品、映像作品等→記録写真
または映像として提出

以上 3 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース 油 絵 コ ー ス

フリガナ
誓約者氏名(自署)

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

証明者氏名(自署) 印

誓約者との間柄

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A 4 サイズファイル 1 冊	2026 年 11 月
2	版画作品	〇〇 cm × 〇〇 cm	2024 年 4 月～2025 年 3 月
3	版画作品	〇〇 cm × 〇〇 cm	2025 年 1 月～2025 年 7 月
4	版画作品	〇〇 cm × 〇〇 cm	2026 年 2 月～2026 年 2 月
5	版画作品	〇〇 cm × 〇〇 cm	2026 年 3 月～2026 年 8 月
6	版画作品	〇〇 cm × 〇〇 cm	2026 年 10 月～2026 年 10 月

作品番号および作品種類は作品に貼付する作品用氏名ラベルと一致させてください。

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

サイズは詳細に記入してください。

以上 6 点

2026 年 11 月 25 日

志望学科・専攻・コース グラフィックアートコース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

コダイラ ハナコ
小平 花子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 11 月 25 日

- ・指導教員より証明を得てください。
- ・日本語学校等に通っている者は、日本語学校等の教員の証明も可とします。
- ・家族、親族、友人は不可です。

所属(職位) 武蔵野美術大学 教授

証明者氏名(自署)

小川 太郎

印

誓約者との間柄

指導教員

必ず捺印してください。外国籍の方は印のかわりにサインでも構いません。

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

XXXXXXXXXX@XXXX.XX.XX

※証明内容について問い合わせることがあります。

※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A4サイズファイル1冊	
2			
3			
4			
5			
6			

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

以上 6 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース グラフィックアートコース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

証明者氏名(自署)

印

誓約者との間柄

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A 4 サイズファイル 1 冊	2026 年 11 月
2	彫刻作品	幅60cm×奥行20cm×高さ50cm木彫	2025 年 4 月～2026 年 3 月
3	彫刻作品	幅50cm×奥行30cm×高さ60cm石彫	2026 年 1 月～2026 年 7 月

作品番号および作品種類は作品に貼付する作品用氏名ラベルと一致させてください。

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

サイズは詳細に記入してください。

以上 3 点

2026 年 11 月 25 日

志望学科・専攻・コース

彫 刻 コ ー ス

フリガナ
誓約者氏名(自署)

コダイラ ハナコ
小 平 花 子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 11 月 25 日

- ・指導教員より証明を得てください。
- ・日本語学校等に通っている者は、日本語学校等の教員の証明も可とします。
- ・家族、親族、友人は不可です。

所属(職位)

武蔵野美術大学 教授

証明者氏名(自署)

小 川 太 郎



誓約者との間柄

指導教員

必ず捺印してください。外国籍の方は印のかわりにサインでも構いません。

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

XXXXXXXXXX@XXXX.XX.XX

※証明内容について問い合わせることがあります。

※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ		
2			
3			

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

以上 3 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース

彫 刻 コ ー ス

フリガナ

誓約者氏名(自署)

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

証明者氏名(自署)

印

誓約者との間柄

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

※証明内容について問い合わせることがあります。

※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	卒業論文	A 4 サイズファイル 1 冊	2022 年 9 月～2023 年 1 月
2	研究論文	A 4 サイズファイル 1 冊	2025 年 9 月～2026 年 1 月

作品番号および作品種類は作品に貼付する作品用氏名ラベルと一致させてください。

大学卒業後 2 年を超える場合は、卒業制作または卒業論文とともに最近の作品または研究論文も提出してください。

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付する。
※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。
※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

最近の作品または研究論文も提出する場合は、それらを含めた合計数を記入。

サイズは詳細に記入してください。

以上 1 点

A 日程出願者で大学卒業見込者は、卒業論文のかわりに卒業論文・卒業制作についての研究計画書 4,000 字程度を提出することも可能です。

2026 年 8 月 25 日

志望学科・専攻・コース 美学美術史コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

コダイラ ハナコ
小平 花子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 8 月 25 日

- ・指導教員より証明を得てください。
- ・日本語学校等に通っている者は、日本語学校等の教員の証明も可とします。
- ・家族、親族、友人は不可です。

所属(職位) 武蔵野美術大学 教授

証明者氏名(自署)

小川 太郎



誓約者との間柄

指導教員

必ず捺印してください。外国籍の方は印のかわりにサインでも構いません。

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

XXXXXXXXXX@XXXX.XX.XX

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

以上 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース 美学美術史コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

証明者氏名(自署)

印

誓約者との間柄

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	論文およびその要旨	A 4 サイズ出力	2024 年 1 月～ 2025 年 1 月
2	活動記録	A 4 サイズファイル 1 冊	2026 年 11 月

論文と概要は 1 つの作品としてください。

研究計画書についての記載は不要です。

作品番号および作品種類は、作品に貼付する作品用氏名ラベルと一致させてください。

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

活動記録提出者は 2 点。

活動記録は希望者のみ提出。提出する場合は、2. 活動記録として記載してください。

以上 1 点

2026 年 11 月 25 日

志望学科・専攻・コース 芸術文化学コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)コダイラ ハナコ
小平 花子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 11 月 25 日

- ・指導教員より証明を得てください。
- ・日本語学校等に通っている者は、日本語学校等の教員の証明も可とします。
- ・家族、親族、友人は不可です。

所属(職位) 武蔵野美術大学 教授

証明者氏名(自署)

小川 太郎

印

誓約者との間柄

指導教員

必ず捺印してください。外国籍の方は印のかわりにサインでも構いません。

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

XXXXXXXXXX@XXXX.XX.XX

※証明内容について問い合わせることがあります。

※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

以上 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース 芸術文化学コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

証明者氏名(自署)

印

誓約者との間柄

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。
なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A3サイズファイル1冊	2026年8月
2	論文と要旨	A4サイズ出力	2025年1月～2026年1月

作品番号および作品種類は作品に貼付する作品用氏名ラベルと一致させてください。

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。
※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。
※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

論文提出者は2点。

論文は希望者のみ提出です。提出する場合は、ここに記載し、出願書類に論文と要旨を同封してください。なお、論文は学位授与論文または発表済み論文に限ります。今後の研究計画のことではありません。

以上 1 点

2026年8月25日

志望学科・専攻・コース 視覚伝達デザインコース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

コダイラ ハナコ
小平 花子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026年8月25日

- ・指導教員より証明を得てください。
- ・日本語学校等に通っている者は、日本語学校等の教員の証明も可とします。
- ・家族、親族、友人は不可です。

所属(職位)

武蔵野美術大学 教授

証明者氏名(自署)

小川 太郎



誓約者との間柄

指導教員

必ず捺印してください。外国籍の方は印のかわりにサインでも構いません。

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

XXXXXXXXXX@XXXX.XX.XX

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A3サイズファイル1冊	

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

以上 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース 視覚伝達デザインコース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

証明者氏名(自署)

印

誓約者との間柄

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験 提出作品自己作成証明書

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

ポートフォリオのかわりに論文を提出する場合は論文について記載してください。

27年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含む作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。
お、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	〇〇サイズファイル1冊	2026年11月
2	作品	椅子、幅20cm×奥行30cm×高さ50cm	2025年1月～2025年7月
3	作品	茶わん、口径12cm×高さ7cm	2026年9月

作品番号および作品種類は作品に貼付する作品用氏名ラベルと一致させてください。

作品を3点提出する場合は続けて記入してください。

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。
※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。
※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

出願時に提出する研究計画書についての記載は不要です。

サイズは詳細に記入してください。
・平面作品→号数または縦横サイズを記入
・立体作品→縦、横、高さ等をcm単位で記入

以上 3 点

2026 年 11 月 25 日

志望学科・専攻・コース 工芸工業デザインコース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

コダイラ ハナコ
小平 花子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 11 月 25 日

- ・指導教員より証明を得てください。
- ・日本語学校等に通っている者は、日本語学校等の教員の証明も可とします。
- ・家族、親族、友人は不可です。

所属(職位) 武蔵野美術大学 教授

証明者氏名(自署)

小川 太郎

印

誓約者との間柄

指導教員

必ず捺印してください。外国籍の方は印のかわりにサインでも構いません。

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

XXXXXXXXXX@XXXX.XX.XX

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験 提出作品自己作成証明書

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

< 自己作成証明 >

2027 年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオまたは論文を記載		

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

以上 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース 工芸工業デザインコース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

< 作成証明 >

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

証明者氏名(自署)

印

誓約者との間柄

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。
なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	〇〇サイズファイル1冊	2026年11月
2	作品	椅子、幅50cm×奥行40cm×高さ80cm	2025年1月～2025年7月
3	作品	ジュエリー・ガラス細工 7cm程度	2026年3月
4	作品	模型、幅30cm×奥行45cm×高さ10cm	2026年3月

作品番号および作品種類は作品に貼付する作品用氏名ラベルと一致させてください。

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。
※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。
※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

サイズは詳細に記入してください。
・平面作品→号数または縦横サイズを記入
・立体作品→縦、横、高さ等をcm単位で記入

以上 4 点

2026 年 11 月 25 日

志望学科・専攻・コース 空間演出デザインコース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

コダイラ ハナコ
小平 花子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 11 月 25 日

・指導教員より証明を得てください。
・日本語学校等に通っている者は、日本語学校等の教員の証明も可とします。
・家族、親族、友人は不可です。

所属(職位) 武蔵野美術大学 教授

証明者氏名(自署)

小川 太郎

印

誓約者との間柄

指導教員

必ず捺印してください。外国籍の方は印のかわりにサインでも構いません。

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

XXXXXXXXXX@XXXX.XX.XX

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ		

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

以上 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース 空間演出デザインコース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

証明者氏名(自署)

印

誓約者との間柄

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

ポートフォリオの
かわりに論文を提
出する場合は論文
について記載して
ください。

27年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含
める作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。
なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

作品番号およ
び作品種類は
作品に貼付す
る作品用氏名
ラベルと一致
させてくださ
い。

作品番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	〇〇サイズファイル1冊	2026年8月
2	デジタルメディア (プレゼンテーション用)	jpgファイル×〇点、約〇〇MB、 USBメモリ、卒業制作	2026年8月

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

以上 2 点

2026 年 8 月 25 日

志望学科・専攻・コース

建 築 コ ー ス

フリガナ
誓約者氏名(自署)コダイラ ハナコ
小平 花子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、
誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、
証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 8 月 25 日

- ・指導教員より証明を得てください。
- ・日本語学校等に通っている者は、日本語学校等の教員の証明も可とします。
- ・家族、親族、友人は不可です。

所属(職位)

武蔵野美術大学 教授

証明者氏名(自署)

小 川 太 郎

印

誓約者との間柄

指導教員

必ず捺印してください。外国籍の方は
印のかわりにサインでも構いません。

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

XXXXXXXXXX@XXXX.XX.XX

※証明内容について問い合わせることがあります。

※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

< 自己作成証明 >

2027 年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオまたは論文を記載		
2	デジタルメディア (プレゼンテーション用)		

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

以上 2 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース 建 築 コ ー ス

フリガナ
誓約者氏名(自署)

< 作成証明 >

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

証明者氏名(自署)

印

誓約者との間柄

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

作品のかわりに研究論文を提出する場合は研究論文について記載してください。なお研究論文とはこれまでに取り組んだ研究についての論文であり、入学後の研究計画のことではありません。

武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこには、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。
違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1 ポートフォリオ	A3 サイズファイル1冊	2026年7月～2026年10月
2 動画作品	USB 3分	2026年10月

作品番号および作品種類は作品に貼付する作品用氏名ラベルと一致させてください。

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。
※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。
※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

映像（動画）を提出する場合は記入してください。

サイズは詳細に記入してください。

以上 1 点

2026 年 11 月 25 日

志望学科・専攻・コース 基礎デザイン学コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)コダイラ ハナコ
小平 花子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 11 月 25 日

- ・指導教員より証明を得てください。
- ・日本語学校等に通っている者は、日本語学校等の教員の証明も可とします。
- ・家族、親族、友人は不可です。

所属(職位) 武蔵野美術大学 教授

証明者氏名(自署)

小川 太郎



誓約者との間柄

指導教員

必ず捺印してください。外国籍の方は印のかわりにサインでも構いません。

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

XXXXXXXXXX@XXXX.XX.XX

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A3 サイズファイル 1 冊	

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

以上 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース 基礎デザイン学コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

証明者氏名(自署)

印

誓約者との間柄

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A3 サイズファイル 1 冊	2026 年 8 月

作品番号および作品種類は作品に貼付する作品用氏名ラベルと一致させてください。

※ 合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※ 「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※ 本証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

以上 1 点

2026 年 8 月 25 日

志望学科・専攻・コース デザイン情報学コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)コダイラ ハナコ
小平 花子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 8 月 25 日

- ・ 指導教員より証明を得てください。
- ・ 日本語学校等に通っている者は、日本語学校等の教員の証明も可とします。
- ・ 家族、親族、友人は不可です。

所属(職位) 武蔵野美術大学 教授

証明者氏名(自署)

小川 太郎



誓約者との間柄

指導教員

必ず捺印してください。外国籍の方は印のかわりにサインでも構いません。

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

XXXXXXXXXX@XXXX.XX.XX

※ 証明内容について問い合わせることがあります。

※ 日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	A3 サイズファイル1冊	

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

以上 1 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース デザイン情報学コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

証明者氏名(自署)

印

誓約者との間柄

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書

武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。
なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	PDF データ	2026 年 8 月
2	映像作品	投稿予定：YouTube ①作品名「 」、作品時間 約〇〇分 ②作品名「 」、作品時間 約〇〇分 ③作品名「 」、作品時間 約〇〇分	2025 年 1 月～ 2025 年 3 月

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。
※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。
※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

以上 2 点

動画以外の作品の場合は提出不要。

2026 年 8 月 25 日

志望学科・専攻・コース 映像・写真コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

コダイラ ハナコ
小平 花子

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

2026 年 8 月 25 日

- ・指導教員より証明を得てください。
- ・日本語学校等に通っている者は、日本語学校等の教員の証明も可とします。
- ・家族、親族、友人は不可です。

所属(職位) 武蔵野美術大学 教授

証明者氏名(自署)

小川 太郎



誓約者との間柄

指導教員

必ず捺印してください。外国籍の方は印のかわりにサインでも構いません。

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

XXXXXXXXXX@XXXX.XX.XX

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

2027年度 武蔵野美術大学・大学院入学試験
提出作品自己作成証明書武蔵野美術大学
学長 樺山 祐和 殿

<自己作成証明>

2027年度武蔵野美術大学入学試験に際し、以下に記す提出作品・ポートフォリオおよびそこに含まれる作品は、すべて私（誓約者）が制作したものに相違ないことを誓約します。

なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分に異議を申し立てません。

番号	作品種類	仕様・媒体・特記事項など	制作年月
1	ポートフォリオ	PDF データ	

※合同作品の場合は、本紙とは別に誓約者の関わり方の説明文をクリップで留めて添付すること。

※「試験日程および提出物」のページを熟読し、提出物を全て記載すること。

※当証明書提出後は、作品内容の変更を一切認めない。

以上 点

年 月 日

志望学科・専攻・コース 映像・写真コース

フリガナ
誓約者氏名(自署)

<作成証明>

上記の作品等（ポートフォリオ含む）はすべて当該誓約者の作品等であることを証明します。なお、誓約者とは親族・友人の間柄ではないことを誓約し、この書面に関して事実と相違があった場合には、証明者としての責を負うことに同意します。

年 月 日

所属(職位)

証明者氏名(自署)

印

誓約者との間柄

連絡先(e-mail または日本国内の電話番号)

※証明内容について問い合わせることがあります。
※日本語または英語で記入してください。

クリエイティブリーダーシップコース 社会人方式 職務経歴書

[illegible]